

シングル混合栓(音声認識&センサー式)

..... AEK8700E型

※上記の品番は、代表品番です。品番を確認する場合は、本体右側下部に貼付のシールをご確認ください。(保証とアフターサービス参照)

施工・取扱説明書

施工、ご使用前にこの説明書を必ずお読みのうえ、正しく施工、ご使用ください。



お客様へ

お読みになった後は、お使いになる方がいつでも読める所に必ず保管してください。
なお、保証書にお買上げ(お取付け)年月日、販売店(工事店)名の記入のない場合はお買上げ(お取付け)の販売店(工事店)に申し出ていただくか、レシート又は領収書を貼付してください。

工事店様へ

施工後、保証書に貴店名ならびにお取付け年月日をご記入のうえ、本書と共にお客様へお渡しください。

本製品について

各部の名称・寸法図..... 1~2

施工について

施工に関する安全上のご注意..... 3~4
適切な使用条件..... 5
施工前のご注意..... 5
梱包明細..... 6
施工手順..... 7~12

ご使用について

ご使用に関する安全上のご注意..... 13~16
吐水・止水..... 17~18
温度調節・吐水量調節..... 19
シャワーの使用法..... 19
Bluetoothスピーカー(別売)
の接続(ペアリング)..... 20
音声認識のON/OFF..... 21
音声認識・センサー温度調整..... 21

凍結予防について

一般用の場合..... 22
寒冷地用の場合(水抜方法)..... 22

日頃のお手入れ

汚れの拭き取り..... 23
マイク部・センサー部の掃除..... 23
ストレーナパッキン・吐水口の掃除..... 24

定期的な点検・部品交換

可動部分の点検..... 25
配管周りの水漏れ・器具の
ガタツキ・ホコリの除去..... 25
シャワーホース・逆止弁の交換時期..... 25

こんなときは

停電時の措置..... 25
故障? その前に..... 26
本製品の構造..... 27

その他

仕様..... 28

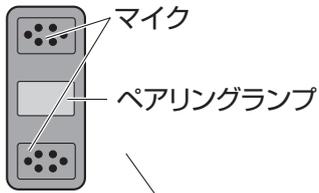
保証とアフターサービス

保証とアフターサービス..... 30
保証書..... 裏紙

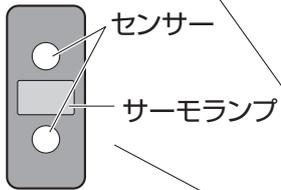
本製品について 各部の名称・寸法図

各部の名称

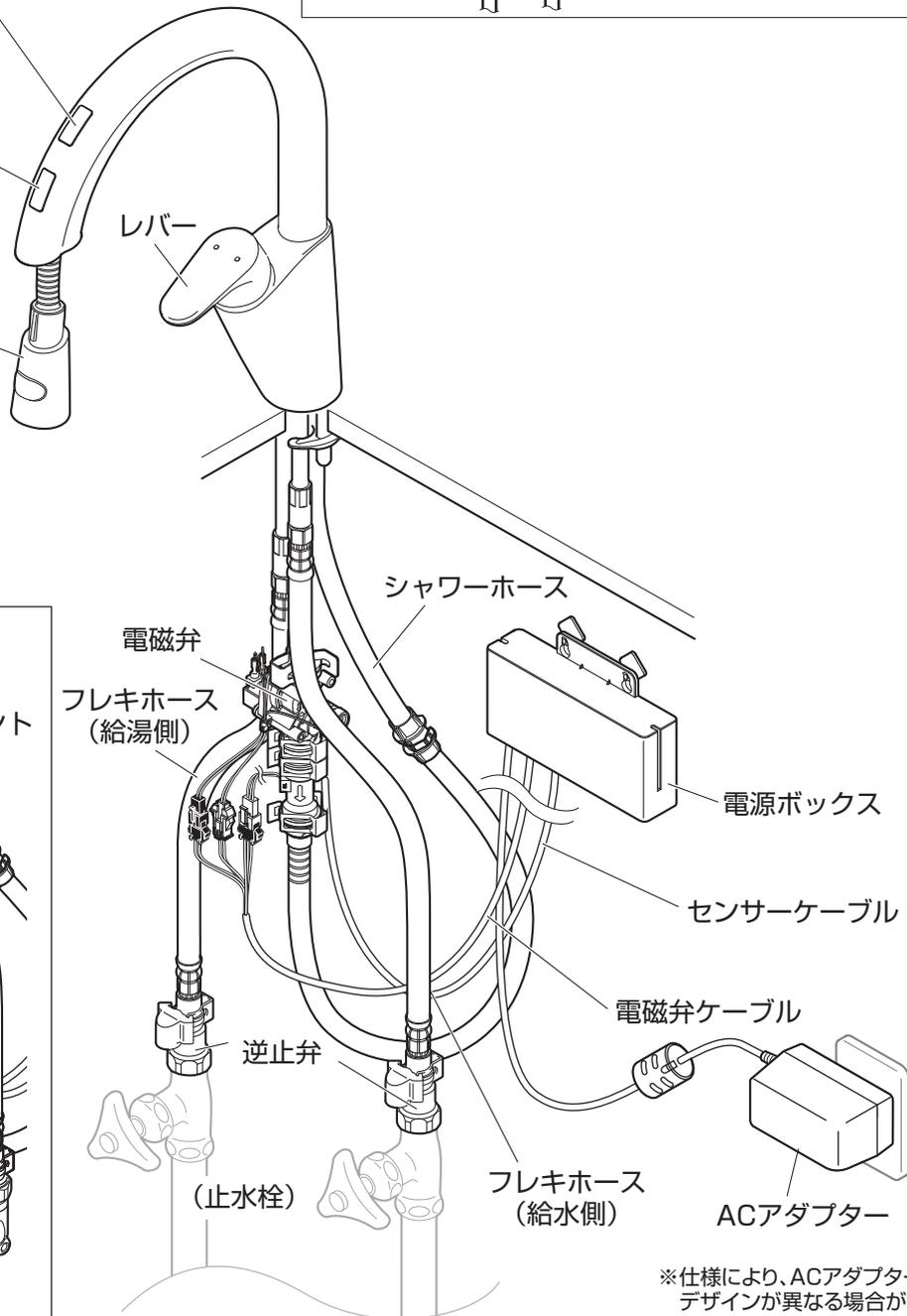
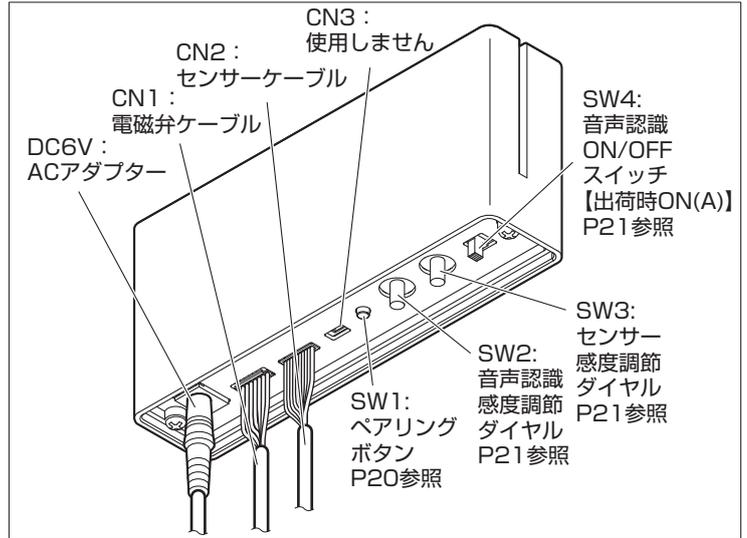
音声認識マイク



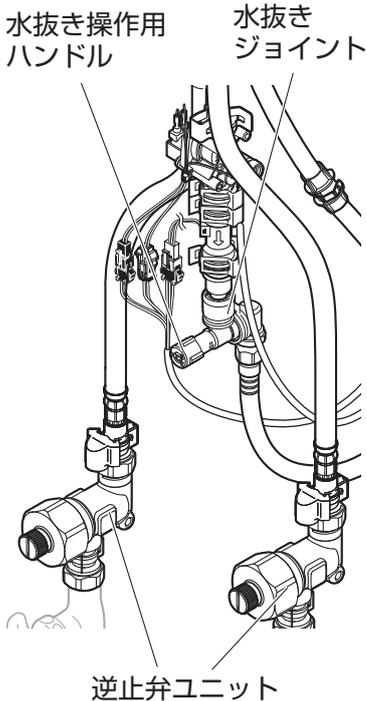
センサー



シャワーヘッド(P19)
ボタンにより整流吐水・
シャワー吐水に切替が
出来ます。



寒冷地用



※仕様により、ACアダプターのデザインが異なる場合があります。

●水勢調節及び製品の点検を容易にするために、別途止水栓をご用意ください。

●音声操作

- ・声による操作で水の出し止めができます。
詳細はP17参照。
- ・Bluetoothスピーカー（別売）と連携することで、音声操作後に返事をする音声ガイド機能を搭載しています。
詳細はP17、18、20参照

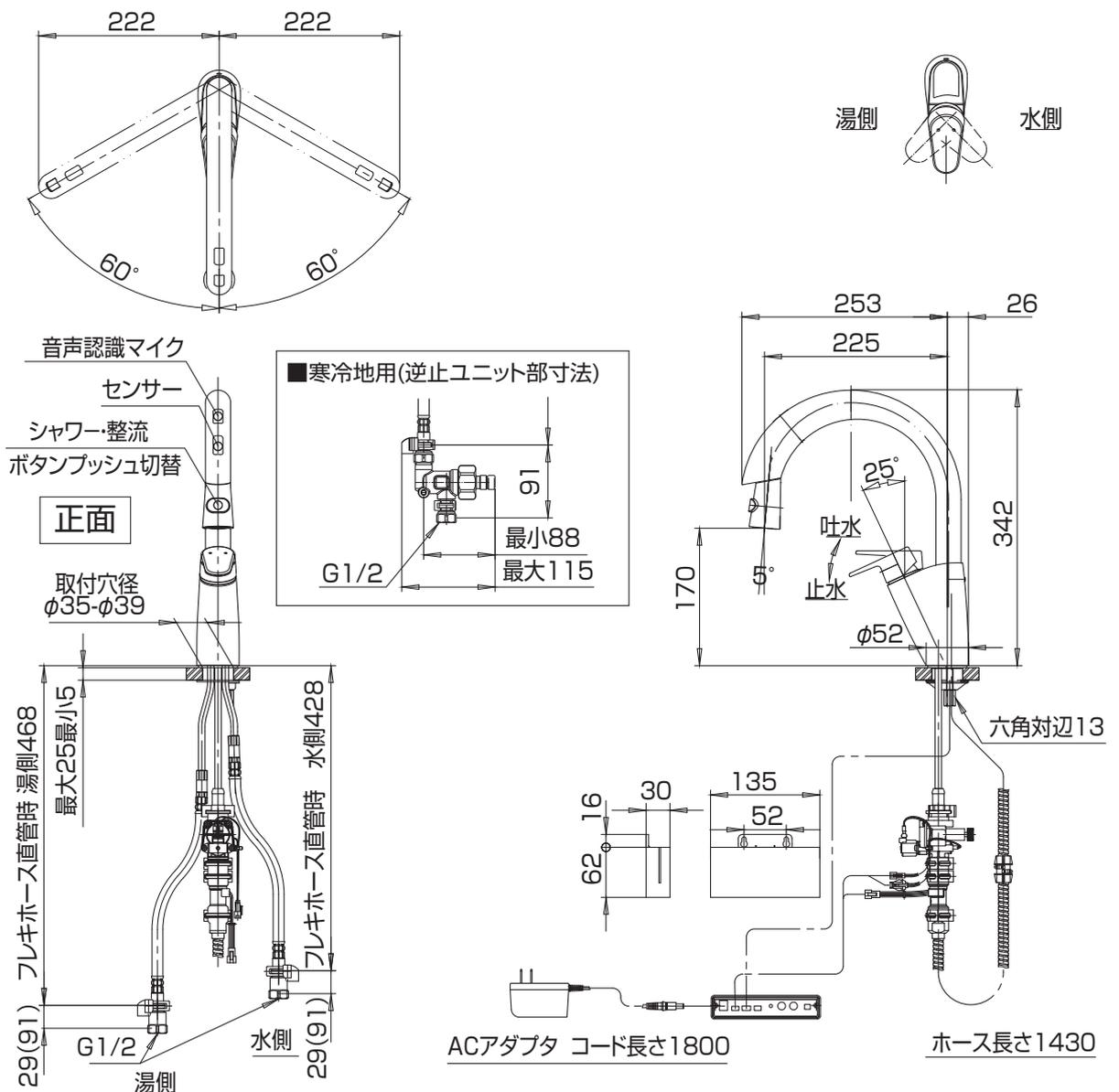
●センサー操作

- ・手をかざすと、水の出し止めができます。
水栓に触れずに操作できるので衛生的です。
- ・感知距離は、約20mm～約50mmです。（赤外線を用いた距離センサーを採用）
- ・出しっぱなし防止のため、吐水から約50L吐水すると、自動的に止水します。
- ・Bluetoothスピーカー（別売）と連携することで、音声操作後に返事をする音声ガイド機能を搭載しています。
詳細はP17、18、20参照

寸法図

()内は、寒冷地用の寸法

●仕様により、寸法が異なる場合があります。



施工について

施工に関する安全上のご注意

- ここに示した注意事項は、状況によって重大な結果（傷害・物損）に結び付く可能性があります。いずれも、安全に関する重要な内容を記載していますので、必ず守ってください。
- 施工完了後、試験運転を行い異常がない事を確認すると共に、工事店様は説明書に沿ってお客様に使用方法、お手入れの仕方を説明してください。
- 施工は、水道法、その他の関係する法規などに従って行ってください。

用語および記号の説明

警告 ……「取扱いを誤った場合に、使用者が死亡または重傷を負う危険な状態が生じる事が想定されます。」

注意 ……「取扱いを誤った場合に、使用者が軽傷を負うかまたは物的損害が発生する危険な状態が生じる事が想定されます。」

 ……「注意しなさい！」（上記の「警告」・「注意」と併用して注意をうながす記号です。必ずお読みになり、記載事項を守ってください。）

 「してはいけません！」
（一般的な禁止記号です。）

 「水や液体をかけたり、
浸けてはいけません！」

 「分解してはいけません！」

 「濡れた手でさわっては
いけません！」

 「バスルームやシャワー
ルームなどの水場で使
用してはいけません！」

 「指示通りにしなさい！」
（一般的な行動指示記号です。）

 「指示した場所に触れては
いけません！」

警告

 電気工事は、必ず電気工事士の資格者が行ってください。
電気回路容量不足や工事不備があると、火災・感電の原因となります。

 修理技術者以外の方は絶対に分解したり、修理・改造は行わないでください。
故障や感電の原因になります。

 電源は交流100V以外は使用しないでください。指定された電源以外は使用
しないでください。
火災や感電の原因になります。

 漏電のおそれがある場合は漏電保護プラグ(別売)を使用してください。
火災や感電の原因になります。

 コンセントや配線器具の定格を超える使用は避けてください。
火災の原因になります。

 コードを乱暴に扱ったり、ガタついているコンセントを使わないでください。
故障や感電の原因になります。

 浴室や屋外など、湿気やほこりの多い場所には設置しないでください。
火災や感電、故障の原因になります。

 ACアダプターを濡れた手でさわらないでください。
火災や感電の原因になります。

 製品に水や洗剤、汚水をかけないでください。
火災や感電、故障の原因になります。

 雷が発生しているときは、ACアダプターにさわらないでください。
感電の原因になります。

⚠ 警告



電源コードをコンセントに差し込むときは根元まで十分に差し込んでください。
火災や感電の原因になります。



ACアダプターを抜くときは、必ずACアダプターを持って抜いてください。
火災や感電の原因になります。



同梱の部品以外は使用しないでください。
故障や水漏れの原因になります。



湯水は逆に配管しないでください。
正常に作動しないため、やけどをすることがあります。



給湯温度は60℃より高温で使用しないでください。
60℃より高温でご使用になると、やけどをしたり、器具の寿命が短くなり水栓が破損し、水漏れのため家財などを濡らす財産損害発生のおそれがあります。



ストレーナパッキンの掃除をする際は、必ず止水栓を閉めてから行ってください。
湯水が噴き出して、やけどや家財などを濡らす財産損害発生のおそれがあります。



(寒冷地用の場合)
水抜部は水抜き以外の目的で開けないでください。
水抜部をいきなり開けると高温の湯が出てやけどをしたり、湯水が噴き出して、家財などを濡らす財産損害発生のおそれがあります。

⚠ 注意



製品に強い力や衝撃を与えないでください。
故障や水漏れの原因になります。



(一般用の場合)
屋外や凍結が予想される地域には、取付けないでください。
凍結破損で水漏れし、家財などを濡らす財産損害発生のおそれがあります。
凍結による破損は、保証期間内でも有料修理となります。
凍結のおそれがある場合は、水栓周囲の温度が氷点下にならないようにしてください。



(寒冷地用の場合)
凍結が予想される場所でご使用になる場合は「寒冷地用の場合(水抜方法)」を参照の上、凍結予防を確実に実施してください。また、屋外には取付けないでください。
部品が破損し、水漏れして家財などを濡らす財産損害発生のおそれがあります。 参照:P22



インバータや赤外線を用いた他の機器により、誤作動することがあります。
センサーどうしが感知し合わないよう、それぞれ離して施工してください。
誤作動の原因になります。



直射日光の当たる場所には設置しないでください。
誤作動の原因になります。



センサー正面の壁に鏡などの反射物を設置しないでください。
誤作動の原因になります。

施工について 適切な使用条件

〔水圧について〕

給水・給湯圧力	最低必要水圧(流動時)	最高使用水圧(静止時)
	0.05MPa	0.75MPa

- 給水圧力が0.75MPaを超える場合は、市販の減圧弁などで0.2～0.3MPa程度に減圧してください。
- 給水圧力は給湯圧力より必ず高くするか、同圧になるようにしてください。
- 給湯圧力は必ず0.05MPa以上にしてください。

〔給湯機について〕

使用最高温度	60℃以下
--------	-------

- 給湯機からの給湯管は抵抗を少なくするために最短距離で配管し、配管には必ず保温材を巻いてください。
- 誤操作などによるやけど防止のため、50～60℃給湯をおすすめします。
- 給湯に蒸気を使用しないでください。
- シャワーを使う際には、条件に適したガス瞬間式給湯機の号数(能力)が必要です。
四季を通じて快適なシャワーを得るために、給湯能力12号以上をおすすめします。
- 本製品は、給湯が止まった状態でレバーを湯側でたおしていると少量の水が出ますが、これは器具の破損防止のためであり、異常ではありません。

〔水質・用途について〕

使用可能水質	水道水及び飲用可能な井戸水
用途	一般住宅用(屋内用)

施工について 施工前のご注意

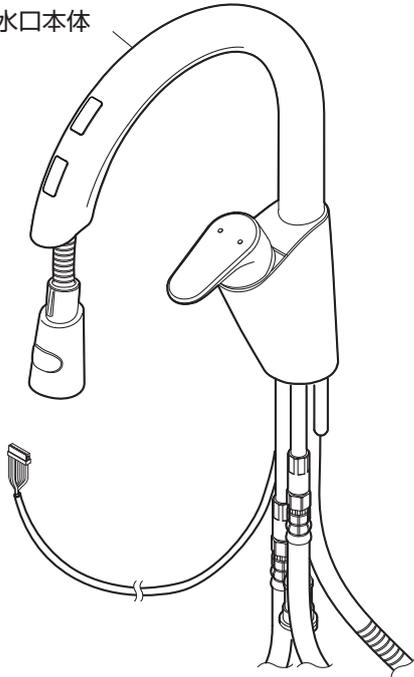
- 給水は、上水道に接続してください。
- 取付後の保守点検のために必ず止水栓（別売）と点検口を設けてください。
- 止水栓は、ストレーナ付をおすすめします。
- 開梱、施工の際は製品に傷をつけないようご注意ください。
- 配管内のシールテープくずやゴミをきれいに取除き、必ず通水して配管内のゴミを完全に洗い流してください。

施工について 梱包明細

●本書（施工・取扱説明書「保証書付」）×1

本体 ×1

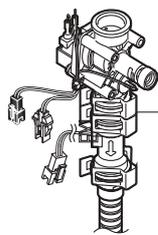
吐水口本体



取付パッキン ×1

取付金具 ×1

取付ナット ×1



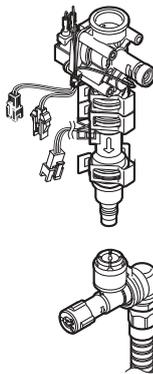
電磁弁 ×1

取り外し用
工具

ストッパー

クイック
ファスナー

寒冷地用



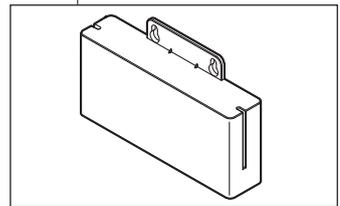
フック ×2



止めねじ ×2



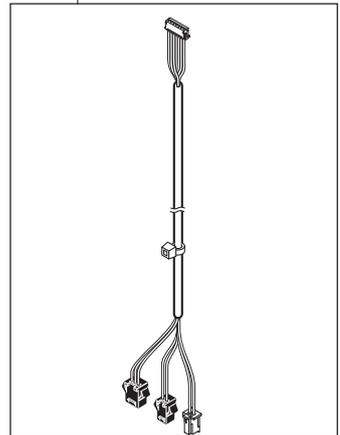
電源ボックス ×1



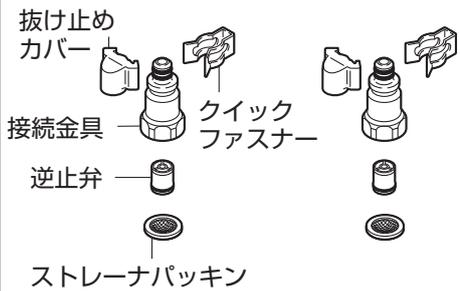
ACアダプター ×1



電磁弁ケーブル ×1

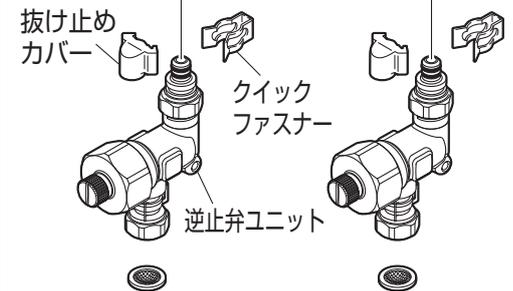


逆止弁 ×2



逆止弁
ユニット ×2

■寒冷地用



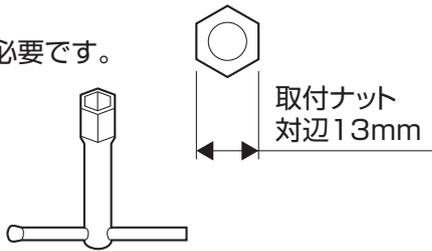
●通水検査をしていますので水が残っている場合がありますが、製品には問題ありません。

主な工具類

■ ナット締付工具：

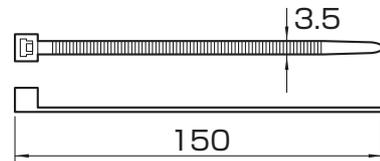
取付ナットを回す時に必要です。

ナット締付工具
SANEI品番：
R356



■ 結束バンド：

出荷時に取付けている結束バンドをはずす場合、再取付時に必要です。



■ スパナ・モンキーレンチ など：

水栓のナットが回せる工具。



■ 手袋：

ケガ防止のため
に着用してくだ
さい。



■ 使い古しのハブラシなど：

取付穴周囲などの
掃除ができるもの。



■ タオルなど：

ケガ防止や水栓
保護のために使
用します。



■ ぞうきんなど：

配管中の残り水
を拭くのに使用
します。



1 配管内の掃除をします。

注 意



配管内のシールテープくずやゴミをきれいに取除き、

必ず通水して配管内のゴミを完全に洗い流してください。

(元栓の開閉はP26を参照してください。)

水栓金具内にゴミなどが混入すると止水不良や水栓の故障の原因となり、

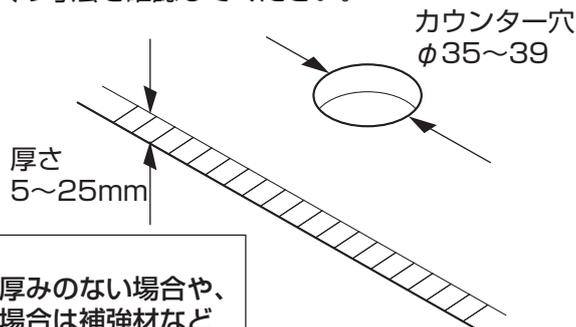
この場合には有償修理となります。

2 吐水口本体を取付けます。

⚠ 注意

- センサー部やコード接続部が水にぬれたり、汚れ、傷がつかないように注意してください。
- あらかじめシンクの内部をきれいに拭いてください。
- 本製品のセンサーが正確にシンクを感知できるよう、極端に斜めに向けて取付けしないでください。

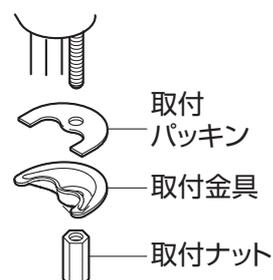
(1) カウンター穴の寸法を確認してください。



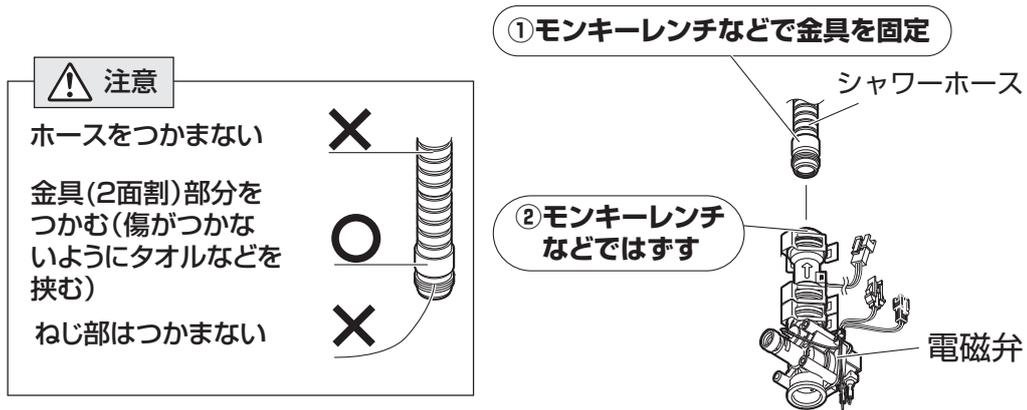
⚠ 注意

カウンターに厚みのない場合や、
取付面が弱い場合は補強材など
を設けてください。

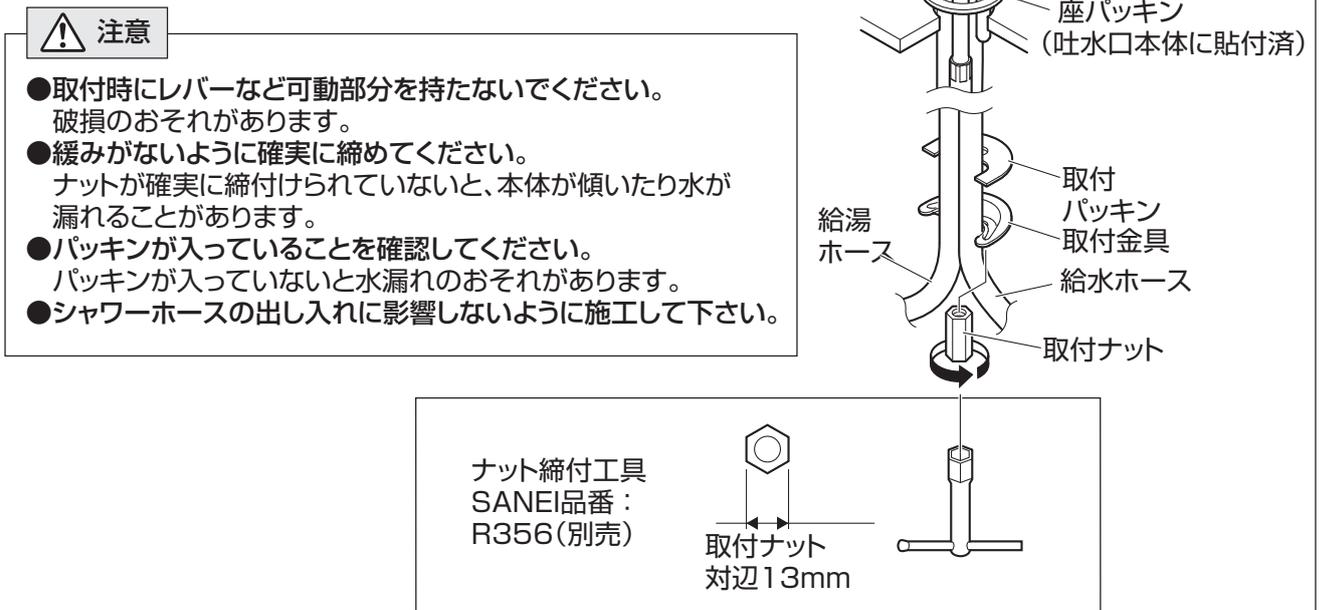
(2) 本体から取付パッキン・取付金具
・取付ナットを手ではずします。



(3) シャワーホースからモンキーレンチなどで電磁弁を外します。



(4) 取付場所のスペースを確認してから、吐水口本体が正面を向くように、締付工具で固定してください。



注意

銅管・ホース施工上の注意点

※下記注意事項は必ず守ってください。
銅管・ホースが折れ、折れた部分で早期破壊を生じる可能性があります。
銅管・ホースが折れた状態でご使用にならないでください。

- 銅管部分は曲げないでください。
- ホースの最小曲げ半径は50mmです。ホースを極端に屈曲しないでください。
- ホースを必要以上の力で曲げたり、無理に引っ張ったりしないでください。
- ホース同士の不要な接触は避けてください。摩擦による外傷でホースの性能劣化の可能性があります。

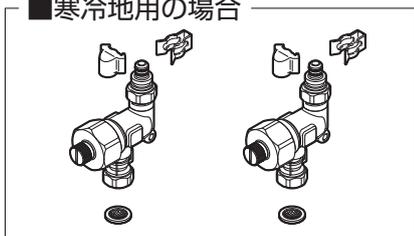
R50以上

R50以上

3 逆止弁（寒冷地用は逆止弁ユニット）を取付けます。

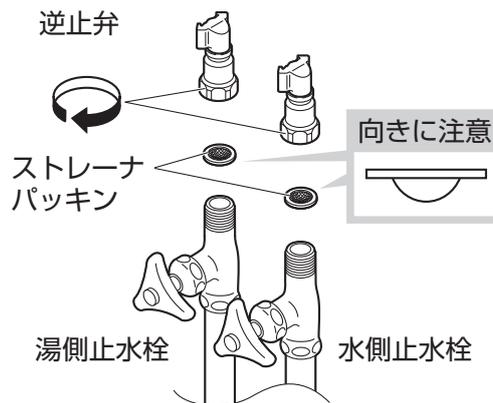
カウンター表面から給水・給湯ホース先端までの長さの確保を行ってから逆止弁を止水栓などに固定してください。

■寒冷地用の場合



⚠ 注意

- ストレーナパッキンが入っていることを確認してください。ストレーナパッキンが入っていないとゴミが混入し、故障の原因になります。
- ストレーナパッキンの向きに注意してください。
- 緩みがないように確実に締めてください。確実に締付けられていないと、水漏れの原因になります。

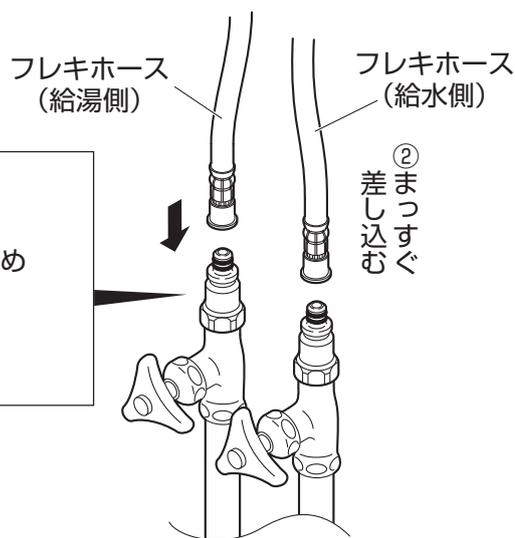


4 逆止弁（寒冷地用は逆止弁ユニット）と給水・給湯ホースを接続します。

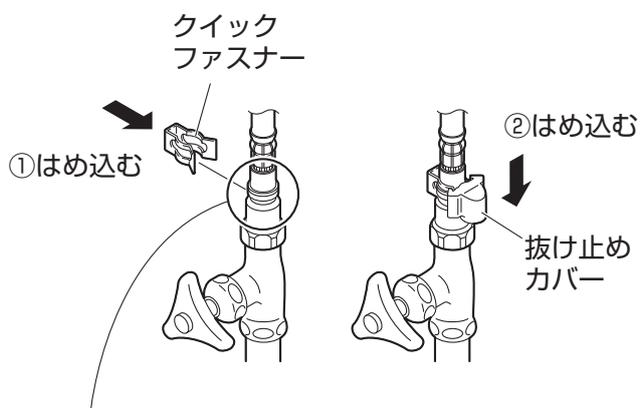
- (1) 逆止弁の抜け止めカバーをはずし、給水・給湯ホースと逆止弁のツバ部がすき間なく合うまで差し込んでください。

⚠ 注意

- 逆止弁のオーリングの傷、ゴミかみに注意してください。
- 抜け止めカバーは、クイックファスナー接続の際に必要なので、なくさないようにしてください。

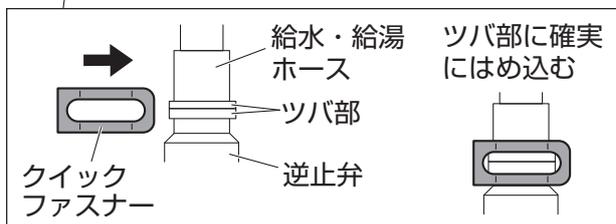


- (2) クイックファスナーを給水・給湯ホースと逆止弁のツバ部に確実ににはめ込んでください。次に抜け止めカバーをクイックファスナーに確実ににはめ込んでください。



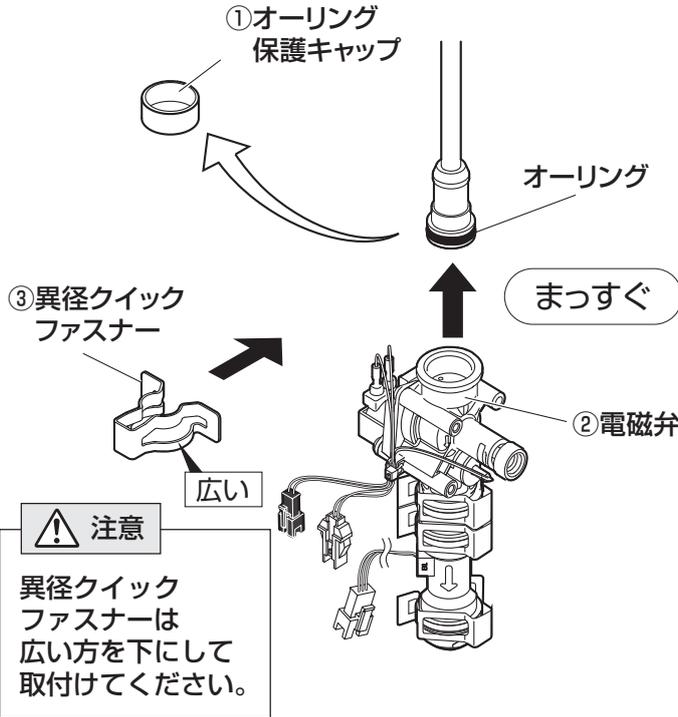
⚠ 注意

- クイックファスナーは、ケガのないよう取り扱いに注意してください。
- クイックファスナーは、広げないでください。
- 給水・給湯ホースを上向きに引っ張って抜けないことを確認してください。



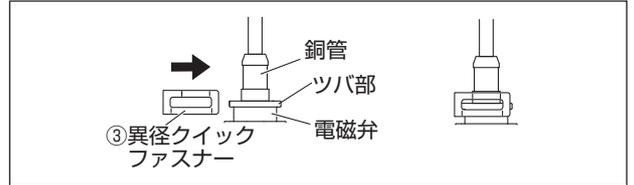
5 電磁弁を接続します。

- ① オーリング保護キャップを外してください。
- ② 銅管にまっすぐ電磁弁を差し込んでください。
- ③ 異径クイックファスナーを取付けてください。



注意

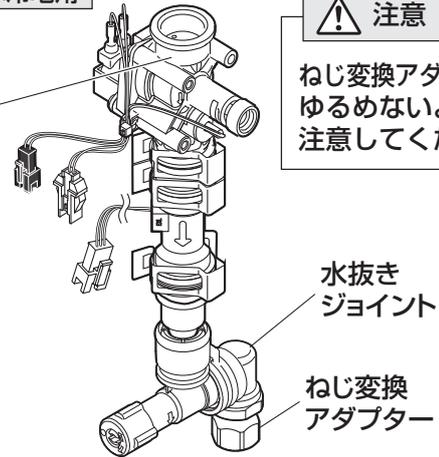
- クイックファスナーは、ケガのないよう取り扱いに注意してください。
- クイックファスナーは、広げないでください。
- 給水・給湯ホースを上向きに引っ張って抜けないことを確認してください。



寒冷地用

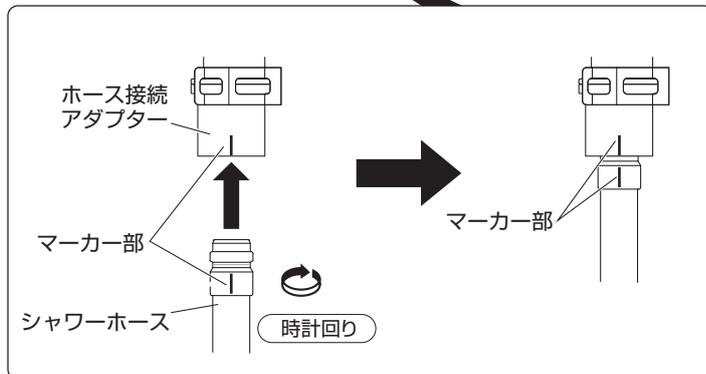
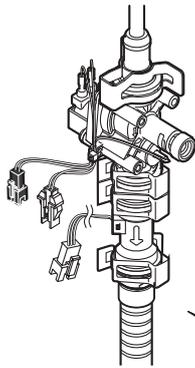
注意

ねじ変換アダプターをゆるめないよう注意してください。



6 シャワーホースを接続します。

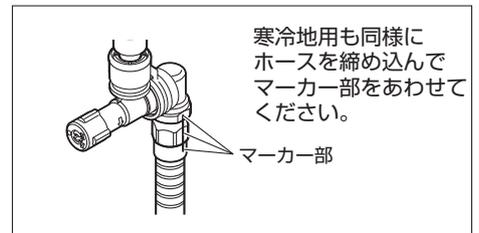
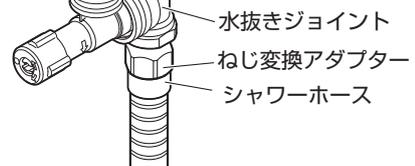
ホース接続アダプター（寒冷地用は水抜きジョイント）にマーカ部までホースを時計回りに回しながら取付けてください。



寒冷地用

注意

シャワーホース接続時にねじ変換アダプターをゆるめないよう注意してください。



注意

電磁弁からはずした場合はカチッと音がするまで確実に差し込んでください。

注意

シャワーホースが確実に接続されていることを確認してください。

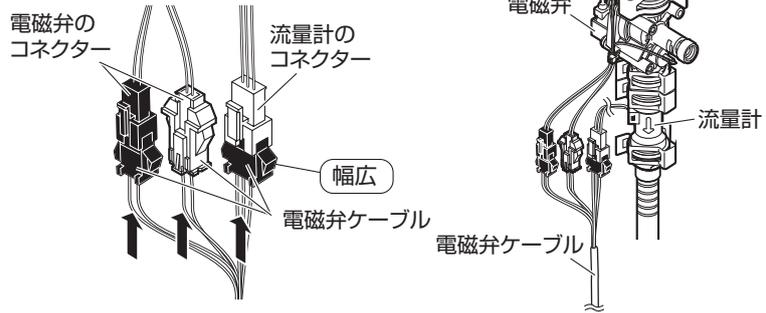
6 ケーブル類を接続します。

- (1) 電磁弁ケーブルの黒色・白色コネクターを、電磁弁の黒色・白色コネクターに
電磁弁ケーブルの幅広の黒色コネクターを、流量計の白色コネクターに
それぞれ接続してください。



注意

コネクターは、「カチッ」と音がするまで確実に差し込んでください。

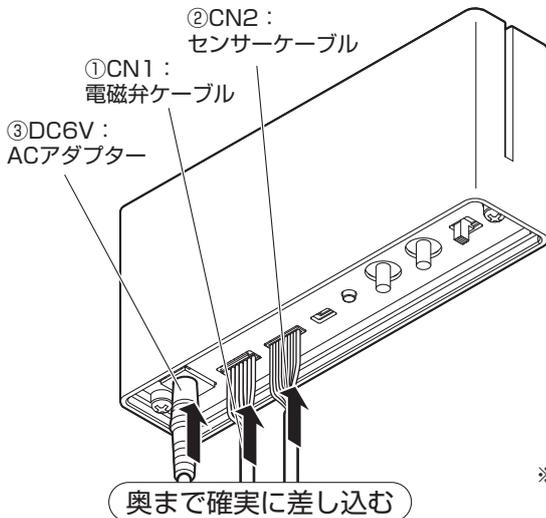


- (2) ①電磁弁ケーブル、②センサーケーブル、③ACアダプターの順にケーブルを差し込んだ後、
④ACアダプターをコンセントに差し込み、⑤2ヶ所のランプが白色点灯していることを確認してください。



注意

ケーブルはコネクターの奥まで確実に差し込んでください。



※仕様により、ACアダプターのデザインが異なる場合があります。

※1 出荷時の設定、白色以外はP17,18参照

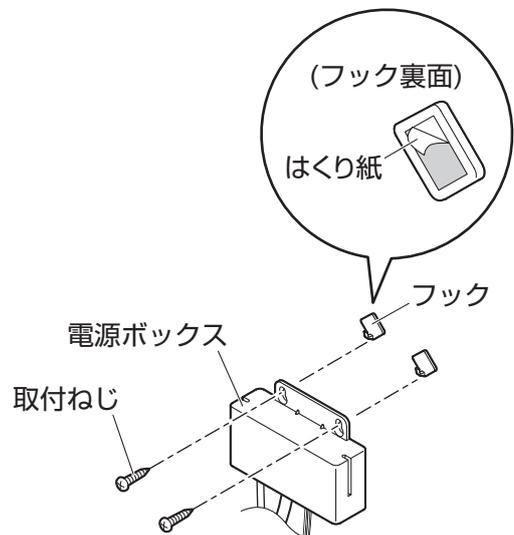
- (3) 電源ボックスをフック(2個)または取付ねじ(2本)で、電磁弁よりも高い位置になるように取付けてください。
電源コードは、コンセント付近で必ず床に触れるようにしてください。



注意

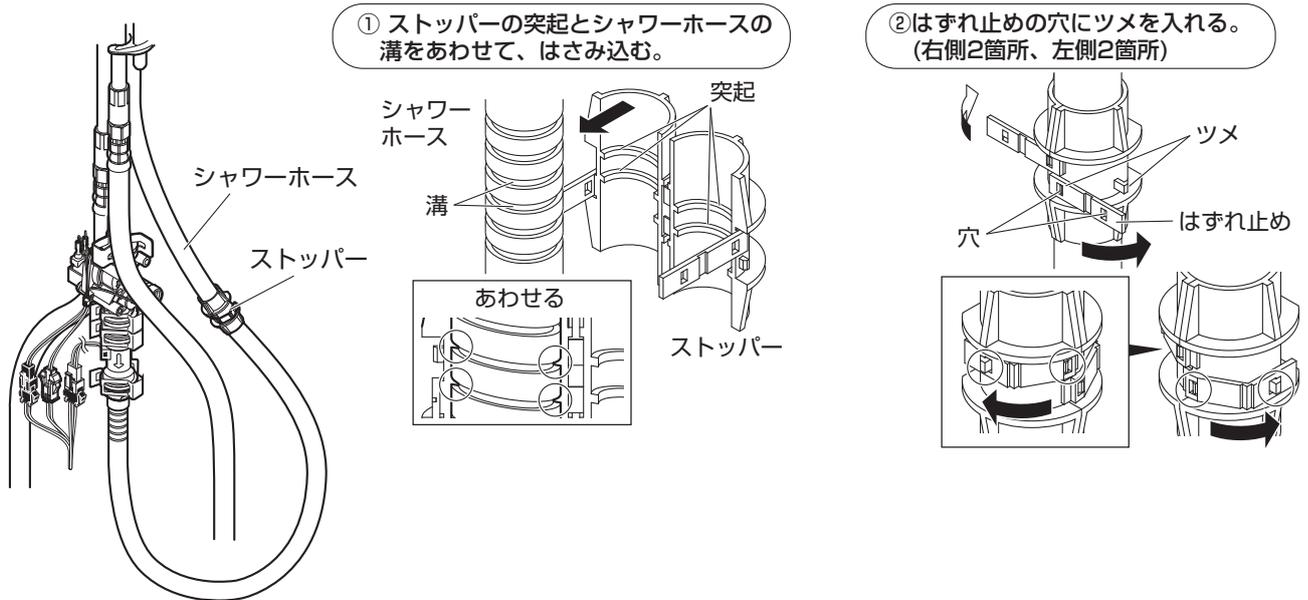
- 電源ボックスは、結露した水で濡れないように、電磁弁よりも高い位置になるように取付けてください。
- 電源コードを伝ってコンセントに水がかからないよう、コンセント付近で必ず床に触れるようにしてください。

- ケーブル類が扉や引き出しなどに挟まらないように注意してください。
ケーブル類が浮いていると、扉や引き出しの開閉時にケーブルが挟まり、ケーブルの断線や故障の原因となります。
- 湯側止水栓やその周辺には、ケーブル類が触れないように注意してください。
給湯側のため高温になっており、劣化の原因になります。
- フックを貼付けるときは、貼付面の汚れをきれいに拭き取ってください。
汚れたまま貼付けると、取付面の強度が落ち、落下の原因になります。
- フックは、何度も取りはずさないでください。
取付面の強度が落ち、落下の原因になります。



7 シャワーホースにストッパーを取り付けてください。

※ストッパーは、シャワーホースの引き出し長さを設定するためのものです。

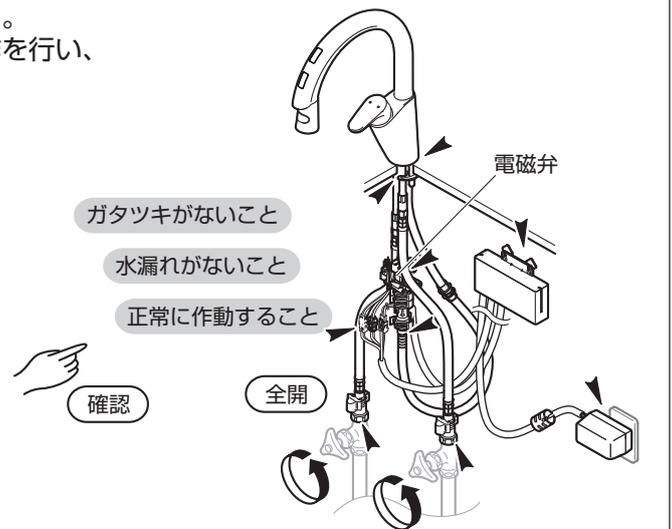


8 施工後、下記項目を点検してください。

- ・各部にガタツキがないこと。
- ・止水栓を全開にして、各部に水漏れがないこと。
- ・レバーを全開にして、音声操作とセンサー操作を行い、正常に作動すること。参照：P19～20
- ・吐水・止水を行い、各部に水漏れがないこと。
- ・吐水・止水を行い、吐水の乱れや弁鳴り(チャタリング)がないこと。

吐水状態に乱れがあったり、吐水・止水時に弁鳴り(チャタリング)がある場合は、下記の手順で電磁弁のエア抜きを実施してください。

- ※ 正常に作動しない場合は、コネクタが確実に接続されているか確認してください。
- ※ ホース引き出し時にケーブル類が引っ掛からないか確認してください。



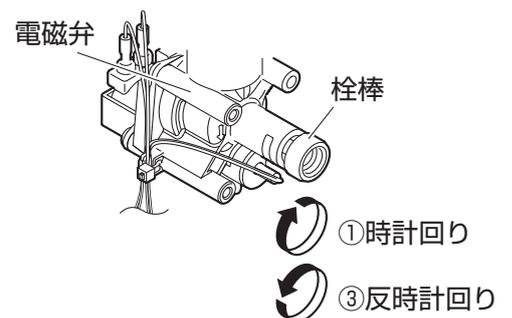
※仕様により、ACアダプターのデザインが異なる場合があります。

【吐水状態の確認】

センサーに手をかざして吐水・止水させ、吐水状態が正常であることを確認してください。吐水状態に乱れがあったり、吐水・止水時に弁鳴り(チャタリング)がある場合は、以下の手順で電磁弁部のエア抜きを実施してください。

【エア抜き手順】

- ① 電磁弁の栓棒を時計回りに回転させます。(当たりまで)
- ② 30秒程度連続吐水させます。
※止水栓が開いていれば、センサー操作をしなくても吐水します。
- ③ 電磁弁の栓棒を反時計回りに回転させます。(当たりまで)
- ④ 手順①～③を3回繰り返します。
- ⑤ 上センサーに手をかざし、吐水および止水させ、吐水の乱れや弁鳴り(チャタリング)が無いことが確認できれば完了です。



ご使用について

ご使用に関する安全上のご注意

●ここに示した注意事項は、状況によって重大な結果(傷害・物損)に結び付く可能性があります。いずれも、安全に関する重要な内容を記載していますので、必ず守ってください。

用語および記号の説明

警告 ……「取扱いを誤った場合に、使用者が死亡または重傷を負う危険な状態が生じる事が想定されます。」

注意 ……「取扱いを誤った場合に、使用者が軽傷を負うかまたは物的損害が発生する危険な状態が生じる事が想定されます。」



……「注意しなさい!」(上記の「警告」・「注意」と併用して注意をうながす記号です。必ずお読みになり、記載事項を守ってください。)



「してはいけません!」
(一般的な禁止記号です。)



「濡れた手で触れてはいけません!」



「指示通りにしなさい!」
(一般的な行動指示記号です。)



「分解してはいけません!」



「水や液体をかけたり、
浸けてはいけません!」



「電源プラグをコンセントから
抜きなさい!」



「指示した場所に触れてはいけません!」



「バスルームやシャワールームなどの水場で
使用してはいけません!」

警告



本製品は、日本国内のキッチン用です。
それ以外の条件下では使用しないでください。

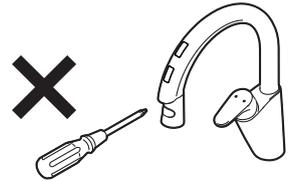
●絶対に分解したり、修理・改造は行わないでください。

火災や感電の原因になります。



●この商品を構成する部品以外の取付けや、部品の取り
はずしなどの改造はしないでください。

故障や感電の原因になります。また、商品の性能を損ない、やけど・けがを
したり、水漏れにより家財などをめらす財産損害発生のおそれがあります。



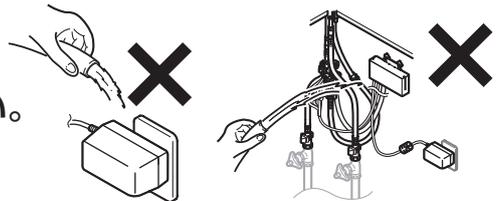
浴室や屋外など、湿気やほこりの多い場所には設置し
ないでください。

火災や感電、故障の原因になります。



ACアダプターや電源ボックス・電磁弁・
コード類に水や洗剤、汚水をかけないでください。

火災や感電の原因になります。



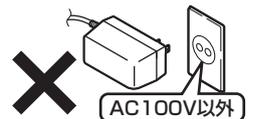
ACアダプターを濡れた手でさわらないでください。

感電の原因になります。



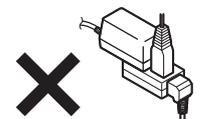
指定された電源(AC100V)以外で使用しないでください。

火災の原因になります。



コンセントや配線器具の定格を超える使い方は避けてください。

火災の原因になります。



ACアダプターについてのホコリは、取除いてください。

ACアダプターの端子にホコリがたまると、湿気などで絶縁不良となり、
火災の原因になります。ACアダプターを抜き、乾いた布で拭いてください。

ホコリなど



警告



ACアダプターをコンセントに差し込むときは、根元まで十分差し込んでください。

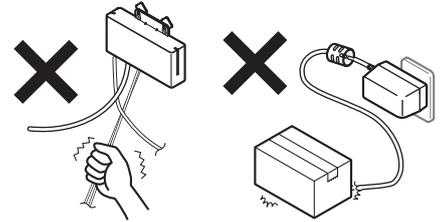
火災や感電の原因になります。



ACアダプターおよびコード類が破損するようなことをしないでください。

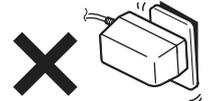
【してはいけない例】

●傷つける ●加工する ●無理に曲げる ●ねじる
●引っ張る ●重いものを載せる ●挟み込む ●加熱する
傷んだまま使用すると、感電・ショート・火災の原因になります。



ガタついているコンセントは使用しないでください。

火災や感電の原因になります。



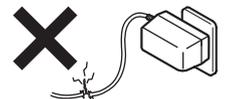
雷が発生しているときは、ACアダプターに触らないでください。

感電の原因になります。



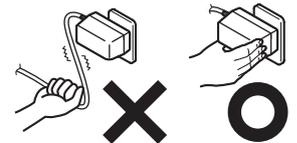
電源コードの加工（切断・継ぎ足し）を行わないでください。

火災や感電の原因になります。



ACアダプターを抜くときは、必ずACアダプター本体を持って抜いてください。

火災や感電の原因になります。



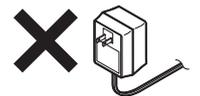
小さいお子様だけのご使用は、避けてください。

やけど・けがをするおそれがあります。



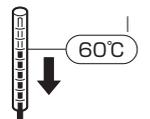
ACアダプターは、同梱以外のものを使用しないでください。

火災や感電の原因になります。



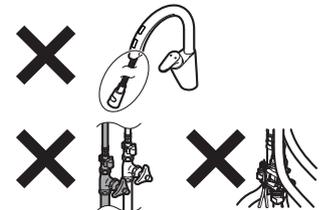
給湯温度は60℃より高温で使用しないでください。

高温の湯が出るとやけどをするおそれがあります。また、60℃より高温で使用になると器具の寿命が短くなります。なお、誤操作などによるやけど防止のため、50～60℃給湯をおすすめします。



高温でご使用中のシャワーホースや湯側配管、電磁弁周辺に、直接肌を触れないでください。

高温になっており、やけどをするおそれがあります。



お使いになる前にレバーの位置を確かめて吐水してください。

湯側で吐水すると、高温の湯が出てやけどをするおそれがあります。湯を使うときは、水から吐水して、その後ゆっくり好みの温度に調節してください。



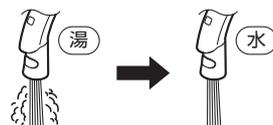
他所の水栓の使用などにより水圧変動が起こり、湯の使用中に湯温が急上昇することがありますのでご注意ください。

やけどのおそれがあります。

警告



湯をお使いの後は、しばらく水を流してから止水してください。
次に使用する際、水栓内に残っている高温の湯が出て、やけどをするおそれがあります。

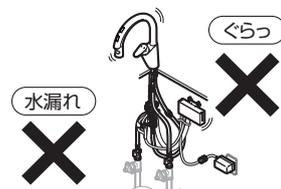


高温の湯をお使いの後は必ずレバーを水側に戻してください。
次に使用する際、いきなり高温の湯が出てやけどをするおそれがあります。



定期的に、配管周りの水漏れや、ガタツキがないか確認してください。

劣化・摩耗などで部品が破損し、やけど・けがをしたり、水漏れして家財などを濡らす財産損害発生のおそれがあります。



(寒冷地用の場合)

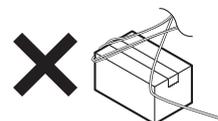
水抜き部は水抜き以外の目的で開けないでください。

水抜き部をいきなり開けると高温の湯が出てやけどをしたり、湯水が噴き出して、家財などを濡らす財産損害発生のおそれがあります。



収納物などを収納する際は、コード類に引っ掛からないように注意してください。

コードが断線し、感電・故障の原因となります。



注意



朝一番の使い始めの水は飲まずに別の用途にお使いください。

しばらく使われないと、ホース内の水は消毒用の塩素がなくなってしまう、におうことがあります。



製品に強い力や衝撃を与えないでください。

【してはいけない例】

●固いものをぶつける ●重いものを載せる ●過度な体重をかける・もたれる
故障や漏水の原因になります。



樹脂メッキ部品には、下記のことを行わないでください。

●鋭利な物を当てる ●衝撃を与える ●落とす

メッキの表面が割れ、ケガをするおそれがあります。

万がメッキの表面が割れた場合は、早めに新しい部品に交換してください。

【樹脂メッキ部品の例】

・シャワーヘッド



レバーは、ゆっくり動かしてください。

レバーを急に閉めると、配管に衝撃が加わり、水漏れで家財などを濡らす財産損害発生のおそれがあります。



使用する時は、吐水口をふさがないでください。

シンク下への漏水の原因となります。



吐水口先端に重いものを下げたり、力をかけて回したりしないでください。

変形、破損および吐水口本体の固定がゆるむおそれがあります。



ホースをねじったり、無理に曲げないでください。

ホースが破損し、家財などを濡らす財産損害発生のおそれがあります。



マイク部・センサー部に直接水をかけないでください。

誤作動や故障の原因になります。水が浸入して漏水し、家財などを濡らす財産損害発生のおそれがあります。



⚠️ 注意



マイク部は、つまようじなどの鋭利なもので絶対に突き刺さないでください。
故障の原因となるおそれがあります。



シャワーホース引き出し口やレバー周辺に直接水をかけないでください。
水が浸入して漏水し、家財などを濡らす財産損害発生のおそれがあります。



シャワーホースを引き出してお使いになるときは、水をはった洗いおけなどにシャワーヘッドやシャワーホースをつけないでください。
汚水が器具に逆流したり、水がシャワーホースを伝わって落ち、家財などを濡らす財産損害の発生のおそれがあります。



凍結のおそれがある場合は、凍結予防を確実に実施してください。(「凍結予防について」参照)
凍結破損で水漏れし、家財などを濡らす財産損害発生のおそれがあります。



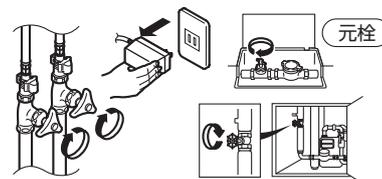
(寒冷地用の場合)
凍結が予想される際は、配管と水栓の水抜き操作を同時に行ってください。
凍結破損で漏水し、家財などを濡らす財産損害発生のおそれがあります。



解氷機やアースを水栓に通電しないでください。
水栓が発熱で破損し、家財などを濡らす財産損害発生のおそれがあります。



長期間使用しない時は、止水栓または配管部の元栓を閉め、ACアダプターを抜いてください。
誤作動や故障などによる予想しない事故の原因になります。



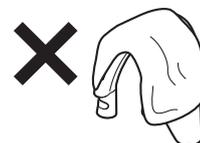
日頃から、ときどき吐水口を回してください。
吐水口を長期間回さずに使用すると水あかなどが付着し、無理に回そうとすると、配管に負荷が掛かり水漏れの原因になります。



日頃から、ときどき切替ボタンを押してください。
切替ボタンを長期間押さずに使用すると水あかなどが付着し、無理に押そうとすると、水漏れの原因になります。



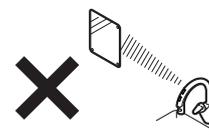
センサー感知窓の上を覆わないでください。
誤作動の原因となります。



直射日光の当たる場所で使用しないでください。
誤作動の原因になります。



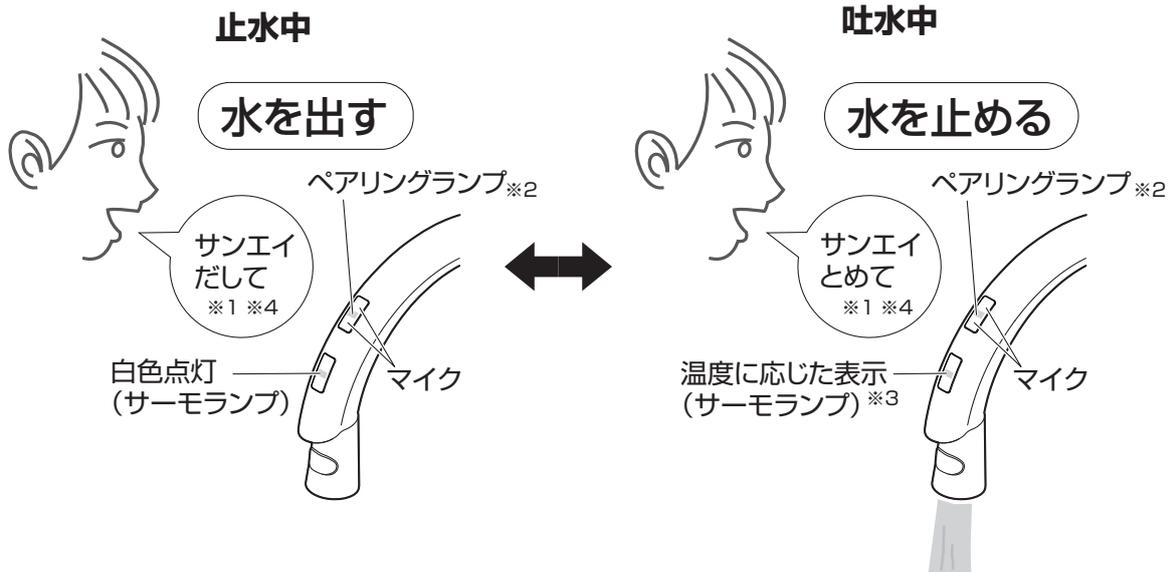
センサー正面の壁に鏡などの反射物を設置しないでください。
誤作動の原因になります。



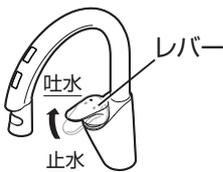
吐水口を回しすぎないでください。
シンクの外への水漏れで家財などを濡らす財産損害発生のおそれがあります。



■ 音声で湯水を出し止めする。(音声操作)



- 水が出ないときは、レバーが上がっていることを確認してください。
- 吐水が約50Lを超えると自動で止まります。吐水したい場合は、「サンエイだして」と言ってください。



※レバー止水状態で1分経過すると、白色点灯に戻ります。

- ※1 音声操作できない場合は、電源ボックスのSW4スイッチがOFF(B)になっている可能性があります。音声操作する場合は、P21を参照ください。
- ※2 上のランプは主にBluetoothスピーカーのペアリング状態を表示しています。詳細は、『ペアリングランプ(上のランプ)の表示』を参照ください。
- ※3 吐水中のサーモランプ、温度に応じて光ります。詳細は、下記『サーモランプ(下のランプ)の表示』をご確認ください。
- ※4 他の言葉でも音声操作可能です。詳細は、下記『音声操作ワード、音声ガイド』をご確認ください。
- ※5 水栓内に熱湯が残っている場合、音声操作できません。(レバー位置に関わらず最初に熱湯が排出されることによるやけどを防ぐため。)

■ 音声操作ワード、音声ガイド

音声操作ワード、音声ガイドは以下の通りです。

	吐水操作	止水操作
音声操作ワード	さんえいだして さんえいみずをだして	さんえいとめて さんえいみずをとめてとめて
音声ガイド	吐水します。 高温です。吐水できません。	止水します。
※Bluetoothスピーカー接続中の場合	・「吐水します。」の音声ガイドから、通水がない場合、約1分後に「レバーは開いていますか?」の音声ガイド後、電磁弁を閉じて待受け状態に戻ります。 ・45℃以上の湯が吐水される場合、「高温です。ご注意ください」のアナウンスが流れます。	

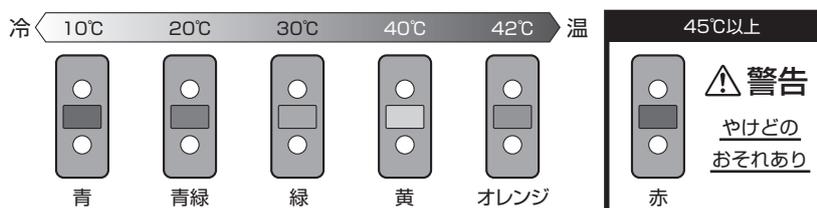
■ ペアリングランプ(上のランプ)の表示

ペアリングランプの表示は下記の通りです。Bluetoothスピーカーの接続についてはP20を参照ください。

ペアリングランプ(上のランプ)の表示	Bluetoothスピーカー	音声認識
白色または消灯	スピーカー登録無	白色:ON 消灯:OFF
緑点灯	スピーカー登録有 スピーカー接続中	ONまたはOFF
黄色点灯	スピーカー登録有 スピーカー接続無	

■ サーモランプ(下のランプ)の表示

サーモランプは、吐水中の温度に応じて光ります。



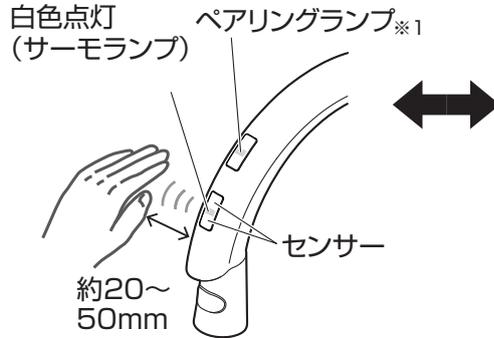
■ 手をかざして湯水を出し止めする。(センサー操作)

止水中

吐水中

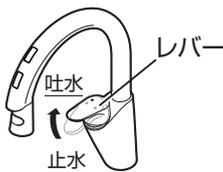
水を出す

水を止める



● 水が出ないときは、レバーが上がっていることを確認してください。

● 吐水が約50Lを超えると自動で止まります。吐水したい場合は、「サンエイだして」と言ってください。



※1 上のランプは主にBluetoothスピーカーのペアリング状態を表示しています。詳細は、『ペアリングランプ(上のランプ)の表示』を参照ください。

※2 吐水中のサーモランプ、温度に応じて光ります。詳細は、下記『サーモランプ(下のランプ)の表示』をご確認ください。

※レバー止水状態で1分経過すると、白色点灯に戻ります。

■ 音声ガイド

音声ガイドは以下の通りです。

	吐水操作	止水操作
	吐水します。	止水します。
音声ガイド ※Bluetoothスピーカー接続中の場合	・「吐水します。」の音声ガイドから、通水がない場合、約1分後に「レバーは開いていますか?」の音声ガイド後、電磁弁を閉じて待受け状態に戻ります。 ・45℃以上の湯が吐水される場合、「高温です。ご注意ください」のアナウンスが流れます。	

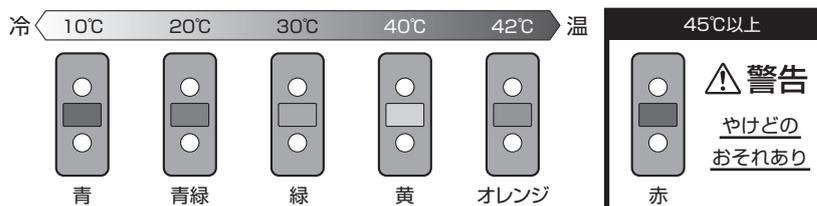
■ ペアリングランプ(上のランプ)の表示

ペアリングランプの表示は下記の通りです。Bluetoothスピーカーの接続についてはP20を参照ください。

ペアリングランプ(上のランプ)の表示	Bluetoothスピーカー	音声認識
白色または消灯	スピーカー登録無	白色:ON 消灯:OFF
緑点灯	スピーカー登録有 スピーカー接続中	ONまたはOFF
黄色点灯	スピーカー登録有 スピーカー接続無	

■ サーモランプ(下のランプ)の表示

サーモランプは、吐水中の温度に応じて光ります。

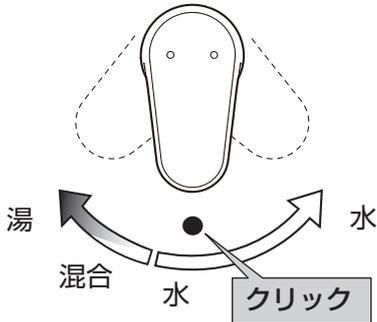


ご使用について

温度調節・吐水量調節

温度調節

レバーを右にまわす → 水
レバーを左にまわす → 次第に温度が上がる



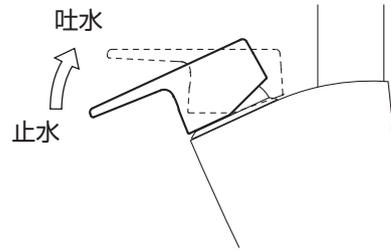
—エコになるしくみ—

上記位置にクリックを設けることで、中央位置で上げた際に湯が出たり、給湯器が着火するのを防ぎます。

吐水量調節

レバーを上げる → 吐水
レバーを下げる → 止水

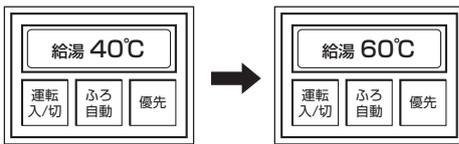
レバーを上げるほど水量が多くなります。



※吐水中に音がする場合は、止水栓をしぼって水量を調節してください。

高温の湯が出ないときは？

レバーを湯側に回しても高温の湯が出ないときは、給湯機（給湯リモコンなど）の給湯温度を42～60℃に設定した後、水栓側のレバーを湯側に回してください。



⚠ 注意

高温の湯を使用した後は、給湯リモコンとレバーで適温に戻してしばらく水を流してください。

（注）水温の高い夏場で吐水量を少なくして使うと瞬間式給湯機の場合、着火しないことがあります。この場合には、水栓側のレバーを全開に（吐水量を多く）するか、給湯機の温度設定を下げてください。

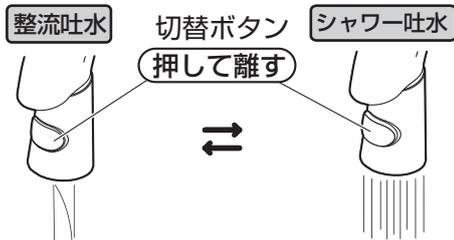


ご使用について

シャワーの使用方法

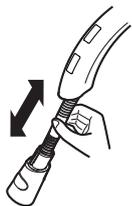
シャワーヘッドは、切替ボタンを押すごとに整流吐水・シャワー吐水に切替えできます。

シャワーヘッドで整流吐水・シャワー吐水に切替えができます。



シャワーヘッドは出し入れ可能です。

出し入れしにくい場合は、シャワーホースに手を添えて操作してください。



⚠ 注意

止水後、シャワーヘッドから水滴がしばらく落ちる事がありますが、シャワーヘッド内の残留水です。異常ではありません。

いつもポタポタ出ているのは電磁弁の栓棒が反時計回りに回転しきっていないか、水栓のバルブ開閉ユニットが故障しているかのどちらかです。しかし、使用直後の一定時間だけの現象であれば閉め方、摩耗や故障ではありません。シャワーヘッド内の水はシャワー散水板の表面張力により滞留しています。振動などによる気圧の変化などにより表面張力が弱くなり、ポタポタと流れ出ることがあります。

※残留水を抜きたい場合は、シャワーヘッドをよく振ってください。

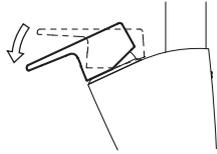


ご使用について

Bluetooth スピーカー(別売)の接続(ペアリング)

下記手順で、Bluetoothスピーカー(別売)を接続できます。(音声認識OFFの場合でも接続できます。)

1. 作業前にレバーを下げて止水します。



※ スピーカー登録済みの場合、本ページ下部に記載の『■ ペアリングをリセットしたい場合』を参照のうえ、ペアリングをリセットしてください。

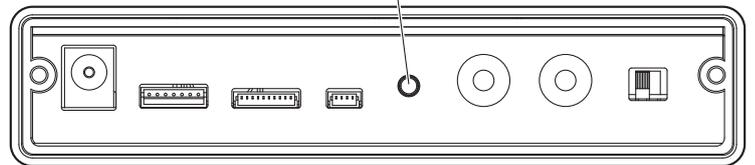
2. 電源ボックスの SW1 ボタンを約2秒押すと、ペアリングモードになり、ペアリングランプ(上のランプ)が緑色点滅します。

ペアリング時の表示

緑色点滅



SW1 ボタン



3. 接続する Bluetooth スピーカー(別売)の取扱説明書に従い、ペアリングモードにしてください。ペアリングに成功すると、ペアリングランプが緑色点灯します。ペアリングに失敗すると、ペアリングランプが白色点灯します。

ペアリング成功時の表示

緑色点灯



ペアリング失敗時の表示

白色点灯



■接続したBluetoothスピーカー(別売)の電源を切った場合

接続したスピーカーの電源を切ると、黄色点灯します。

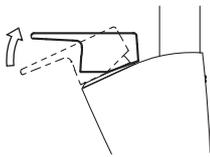
※再度接続したスピーカーの電源を入れると、緑色点灯します。

黄色点灯



※ペアリング登録できるのは1台のみとなります。

4. レバーを上げてから、P17・18を参照して操作をテストします。音声ガイドが流れない場合は、スピーカーの音量などを確認してスピーカーの設定に問題ないかを確認ください。それでも音声ガイドが流れない場合は、1. からやり直してください。



■ ペアリングをリセットしたい場合

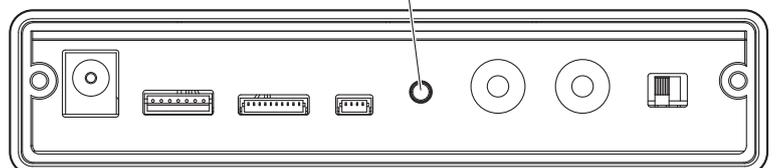
ペアリングリセット時の表示

白色点灯
または消灯



SW1 ボタンを長押し(約10秒)し、離すとペアリング登録がリセットされます。

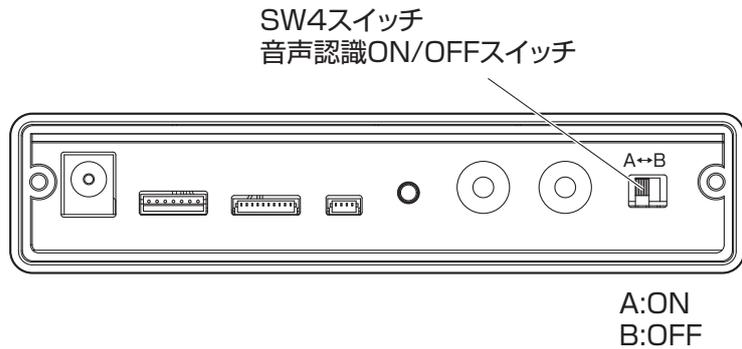
SW1 ボタン



ご使用について 音声認識のON/OFF

電源ボックスのSW4スイッチで音声認識 ON・OFF の切替ができます。

※ ペアリングランプの表示は、上記「ペアリングランプ(上のランプ)の表示」をご確認ください。



ご使用について 音声認識・センサーの感度設定

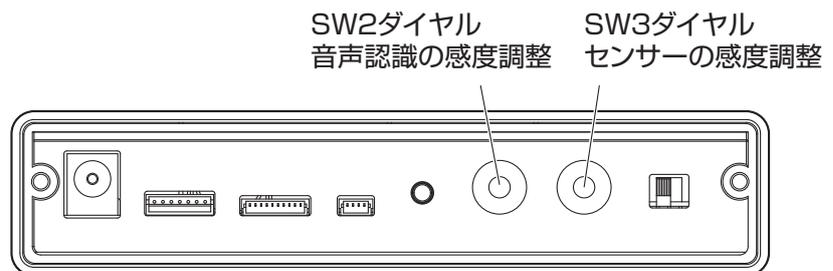
ご使用時に感度が鈍い場合は、電源ボックスに設けている感度調整ダイヤルにて調整が可能です。
(製品出荷時は「4」に設定されています。)

■音声認識の感度調整(SW2ダイヤル)

0(感度低) ↔ 4(初期状態) ↔ 10(感度高)

■センサーの感度調整(SW3ダイヤル)

0(感度低) ↔ 4(初期状態) ↔ 10(感度高)



凍結予防について 一般用の場合

凍結のおそれがある場合は、次の処置によって凍結を予防できる場合があります。

- 水栓より少量の水を出してください。
(右記参照)
 - 配管部などに保温材を巻いてください。
 - 屋内の窓を閉めるなどして水栓周囲の温度が氷点下にならないようにしてください。
- ※凍結による破損は保証期間内でも有料修理となります。

窓を閉めるなど



湯の当たりとクリックの間で出す



凍結予防について 寒冷地用の場合(水抜方法)

寒冷地用は寒冷地において配管中の水を抜く設備(水抜栓)とあわせて使用する製品です。
凍結のおそれがある場合は、下記の方法で水抜きをしてください。

- 1 元栓を閉め、配管の水抜栓を開けます。
- 2 シャワーホースを引き出せる位置まで引き出します。
- 3 電磁弁の栓棒を時計回りに当たりまで回転させます。
- 4 逆止弁ユニットを開放します。
- 5 水抜操作ハンドルをゆるめます。
- 6 レバーを上げ、右側いっぱいに戻します。
- 7 レバーを上げたまま、左側いっぱいに戻します。
- 8 シャワーヘッドをよく振ります。

8 シャワーヘッドをよく振って水を抜く。



2 シャワーホース

5 水抜操作ハンドルを回す。



注意

- 水抜部は高温の湯が出てやけどをするおそれがあります。ご注意ください。
- 水が抜けない場合は、シャワーヘッドを高い位置に持ち上げ、シャワーホースをしっかりと伸ばしてください。

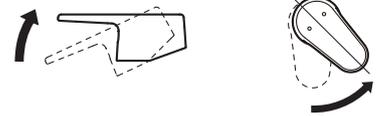
再使用時

- ① シャワーヘッド・シャワーホースを元の位置に戻します。
- ② レバーを下げます。
- ③ 逆止弁ユニットの栓棒を時計回りに回して閉じます。
- ④ 水抜操作ハンドルをClose方向に空回りするまで回します。
- ⑤ 電磁弁の栓棒を反時計回りに当たりまで回転させます。
- ⑥ 元栓を開けます。
- ⑦ レバーを上げて通水し、水抜穴・各接合部から水漏れがないことを確認してください。

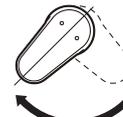
水抜操作ハンドルをClose方向に空回りするまで回してください。



6 レバー



7 レバー



電磁弁

栓棒

3 栓棒時計回り

逆止弁ユニットの栓棒を反時計回りに回して開放。

4 栓棒反時計回り

※硬くて回らない場合は、マイナスドライバー・プライヤーなどの工具をご使用ください。

電磁弁の栓棒反時計回り

注意

ロック部が確実に上がっている事を確認してください。通水するとニップル部から抜けるおそれがあります。



日頃のお手入れ 汚れの拭き取り

製品についた汚れを放置しておくと、汚れが落ちにくくなる場合があります。快適にお使いいただくために、日頃のお手入れをおすすめします。

- 柔らかい布で水拭きして、よくしぼった布で汚れを拭き取ってください。
- 汚れが目立つときは、中性洗剤を柔らかい布にふくませて拭き取った後水拭きして、よくしぼった布で汚れを拭き取ってください。

⚠ 注意

- **中性洗剤以外は使用しないでください。**

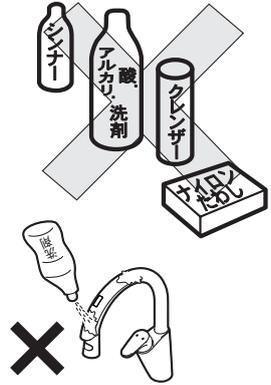
中性洗剤以外を使用すると、変色や破損のおそれがあります。

- **お手入れする際は、次のものは絶対に使用しないでください。**

【使用してはいけないもの】

- 酸性・アルカリ性および塩素系の洗剤類 ※特に酸性洗剤はメッキを侵します。
- ベンジン・シンナー・ラッカー・アルコールなどの溶剤や油類
- クレンザーなどの粒子の粗い洗剤
- ナイロンたわし・メラミンフォームなど

製品の割れや変色変質の原因となります。



洗剤・薬品が製品に付着した場合は、すぐにきれいに拭き取ってください。

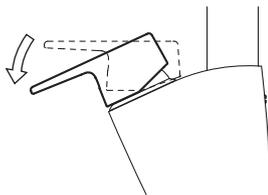
製品の割れや変色変質の原因となります。



日頃のお手入れ マイク部・センサー部の掃除

センサーの表面が汚れていたり、水滴や泡が付着していると、勝手に水が出るなど誤作動することがあります。快適にお使いいただくために、日頃のお手入れをおすすめします。

- 1 レバーを下げて止水します。



マイク部の傷・目詰まりに注意

センサー部の傷に注意

綿布

- 2 水またはぬるま湯に浸した綿布で汚れを拭き取ります。

汚れがひどい場合は、綿布にうすめた食器用中性洗剤を含ませて拭き取った後水拭きしてください。

⚠ 注意

- マイク部は、つまようじなどの鋭利なもので絶対に突き刺さないでください。
- マイク部・センサー部に直接水や洗剤などをかけないでください。
- マイク部が目詰まりしないようご注意ください。
- 拭き取り時にマイク部、センサー部に傷をつけないでください。

日頃のお手入れ ストレーナパックン・吐水口の掃除

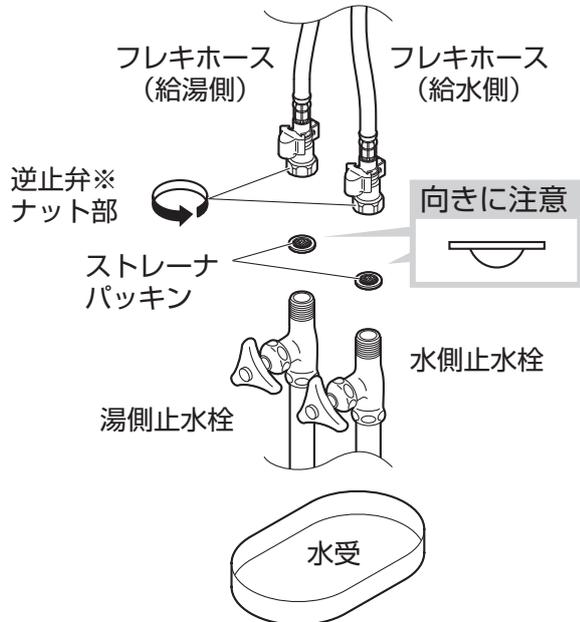
ストレーナパックン・吐水口の汚れを放置しておくと、十分な機能を発揮できないことがあります。快適・衛生的にお使いいただくために、日頃のお手入れをおすすめします。(近所で水道工事があったり、長期間使用し湯水の出が悪くなった場合にも、汚れの点検・お手入れをおすすめします。)

- 1 止水栓を回し、止水します。
- 2 ■ ストレーナパックンを掃除する場合… 水受を用意し、ナット部をはずします。
■ 吐水口を掃除する場合… シャワーヘッドからストレーナ及び整流器・シャワー板をはずします。

ストレーナパックンを掃除する場合



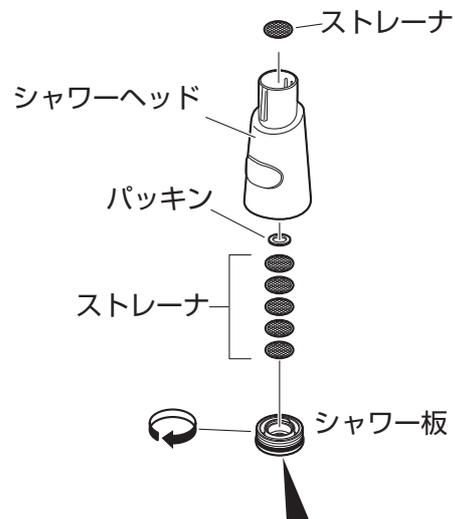
- 注意**
- 電池ボックスやコネクタ接続部が水にぬれたり、汚れ、傷つかないように注意してください。
 - 湯側配管部は高温になっているおそれがありますのでご注意ください。
 - 湯側のナット部をはずす際は、高温の湯が噴き出すおそれがありますので、ご注意ください。
 - ホースを必要以上の力で曲げて折らないように注意してください。



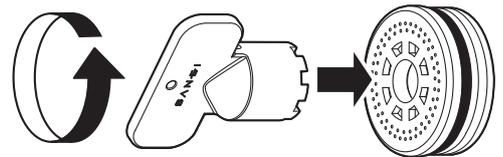
吐水口を掃除する場合



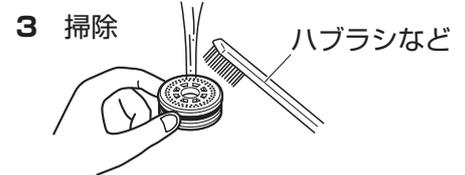
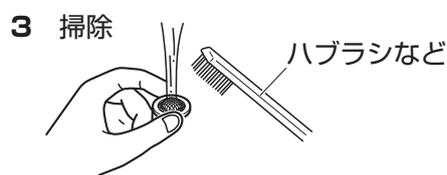
- 注意**
- センサー部に汚れ、傷つかないように注意してください。
 - 部品が排水口に落ちないように、ゴム栓あるいは布などでふさいでください。



同梱の取り外し用工具先端をシャワー板のくぼみに合わせて差し込んで、回してください。



- 3 ハブラシなどで網部分・シャワー板を掃除します。



掃除後

部品を逆の手順で取付けます。



- 注意**
- ストレーナパックン、またはパックンが入っていることを確認してください。
 - ストレーナパックン、またはパックンの傷、ゴミかみに注意してください。水漏れの原因になります。
 - ストレーナパックンの向きに注意してください。
 - 緩みがないように確実に締めてください。確実に締付けられていないと、水漏れの原因になります。

再使用时

- はずした部品が確実に閉まっていることを確認してください。
- 止水栓を開いて水漏れ・動作チェックと吐水状態の確認を行ってください。参照：P12

定期的な点検 可動部分の点検

可動部分が固くて動きが悪い場合は、「保証とアフターサービス」(P30)を参照し、修理をご依頼ください。
吐水口の点検については下記を参照ください。

日頃から、ときどき下記箇所を操作してください。(月1回を目安)

・吐水口を回す



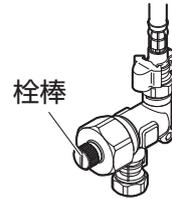
・シャワーヘッドの切替操作



押し離す

・逆止弁ユニットの栓棒を回す。
点検後、時計回りに回して元の位置に戻してください。

※硬くて回らない場合は、マイナスドライバーやプライヤーなどの工具をご使用ください。



長期間動かさないと、水あかなどが付着し作動不良発生の原因になります。動かなくなった場合は、「保証とアフターサービス」(P30)を参照し、修理をご依頼ください。

定期的な点検 配管周りの水漏れ・器具のガタツキ・ホコリの除去

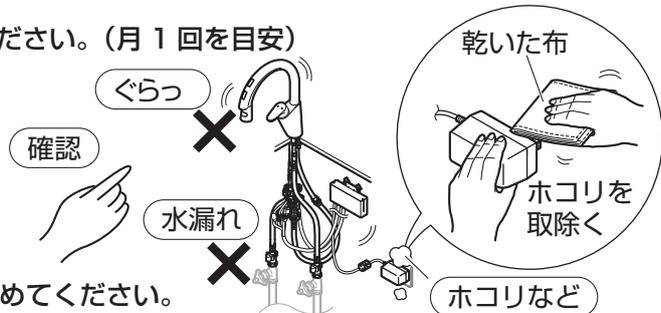
定期的に、配管周りの水漏れがないか確認してください。(年2回を目安)

定期的に、器具のガタツキがないか確認してください。(年2回を目安)

劣化・摩耗などで部品が破損し、やけど・けがをしたり、水漏れして家財などを濡らす財産損害発生のおそれがあります。

定期的に、ACアダプターについてホコリを取除いてください。(月1回を目安)

ACアダプターの端子にホコリなどがたまり、湿気などで絶縁不良となり、火災の原因になります。
ACアダプターを抜き、乾いた布でホコリを取除いてください。



漏水を確認した場合は、止水栓または配管中の元栓を閉めてください。

修理の依頼をされる場合は、「保証とアフターサービス」(P30)を参照してください。 ※仕様により、ACアダプターのデザインが異なる場合があります。

定期的な部品交換 シャワーホース・逆止弁の交換時期

シャワーホースの交換時期の目安：5年

シャワーホースの劣化により水漏れして、家財などを濡らす財産損害発生のおそれがあります。

逆止弁の交換時期の目安：3～5年

万が一、逆止弁が正常に機能しない場合、状況によっては水栓から一度吐水した水が逆流するおそれがあります。

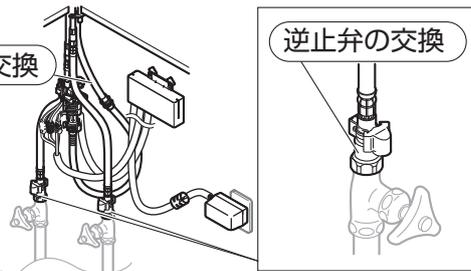
※寒冷地用の場合、逆止弁ユニット・水抜きジョイントに逆止弁があります。

※交換時期は、使用環境などにより異なります。

※シャワーホース・逆止弁の交換を依頼される場合は、「保証とアフターサービス」(P30)を参照してください。

シャワーホースの交換

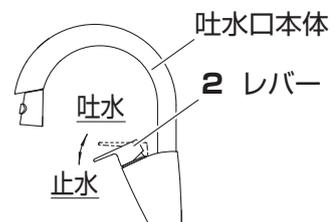
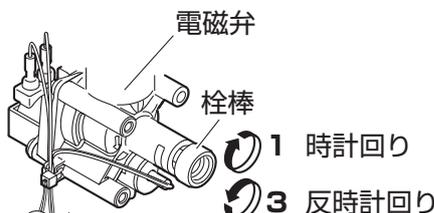
逆止弁の交換



こんなときは 停電時の措置

停電した場合は、下記の措置を行ってください。

- 1 電磁弁の栓棒を時計回りに回転させます。(当たりまで)
- 2 レバー操作で吐止水を行ってください。
- 3 停電から復旧した後に、電磁弁の栓棒を反時計回りに回転させます。(当たりまで)



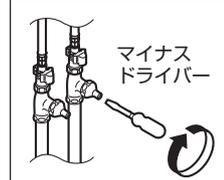
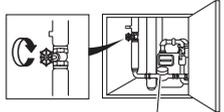
こんなときは 故障？ その前に

修理をご依頼される前に、次の表に従って点検してください。

吐水しない	<ul style="list-style-type: none"> ◇ 水栓のレバーは開いていますか。 → 【K】 ◇ ACアダプターはコンセントに差し込まれていますか。 → 【A】 ◇ ケーブル類は確実に接続されていますか。 → 【B】 ◇ 止水栓は開いていますか。 → 【C】 ◇ 停電はありませんでしたか。 → 【D】 ◇ 断水中ではありませんか。 → 【E】 	<ul style="list-style-type: none"> ◇ ストレーナパッキン・吐水口のゴミづまりはありませんか。 → 【F】 ◇ センサーの表面が汚れていたり、水滴や泡が付着していませんか。 → 【G】 ◇ センサーの感知エリア内に障害物はありませんか。 → 【H】 ◇ サーモランプが赤色点滅(点灯)していませんか。 → 【I】 	<ul style="list-style-type: none"> 【A】 ACアダプターを確実に差し込んでください。 参照：P11 【B】 ケーブル類を確実に差し込んでください。参照：P11 【C】 止水栓を十分に開いてください。 参照：P12 【D】 停電時の措置を行ってください。 参照：P25 【E】 復旧するまで待機してください。 【F】 ストレーナパッキン・吐水口の掃除をしてください。 参照：P24 【G】 センサー部の水滴や汚れを柔らかい布で拭き取ってください。 参照：P23 【H】 センサー感知エリア内の障害物を移動してください。 参照：P16 【I】 センサー操作で吐水してください 参照：P18 給湯温度を下げ、温調操作を行い、水栓の温度が下がるのを待ってください。 参照：P19 【J】 電磁弁の栓棒を反時計回りに閉めてください。 参照：P12 【K】 レバーの位置を確認してください。 参照：P19 【L】 給湯機の設定温度・作動を確認してください。 参照：P19 【M】 音声認識ワードを正しく発音できているか確認し、適度なスピードで大きめの声ではっきり発声してください 参照：P17 【N】 周囲の雑音を避け、はっきりと発声してください 【O】 電源ボックスのSW4をON(A)にしてください。 参照：P21 【P】 電源ボックスのSW2・SW3で適切な感度に調節してください。 参照：P21 【Q】 反射物を移動してください。 参照：P16 【R】 直射日光が入らないようにしてください。 参照：P16 【S】 誤作動の原因となる機器を取り除いてください。 参照：P4 【T】 栓棒操作(時計回りで水を出す・反時計回りで水を止める)を2~3度繰り返して、様子を見てください。 参照：P12 【U】 電磁弁ケーブル(白色コネクター)を確実に差し込んでください。 参照：P11
水(湯)が止まらない	<ul style="list-style-type: none"> ◇ センサーの表面が汚れていたり、水滴や泡が付着していませんか。 → 【G】 ◇ センサーの感知エリア内に障害物はありませんか。 → 【H】 ◇ 電磁弁の栓棒が開いていませんか。 → 【J】 		
流量が少ない	<ul style="list-style-type: none"> ◇ 止水栓は十分に開いていますか。 → 【C】 ◇ ストレーナパッキン・吐水口のゴミづまりはありませんか。 → 【F】 		
高温しか出ない	<ul style="list-style-type: none"> ◇ 水側の止水栓は十分に開いていますか。 → 【C】 ◇ 水側のストレーナパッキンのゴミづまりはありませんか。 → 【F】 ◇ レバーの位置は合っていますか。 → 【K】 		
低温しか出ない	<ul style="list-style-type: none"> ◇ 給湯機から十分な湯がきていますか。 → 【L】 ◇ 湯側の止水栓は十分に開いていますか。 → 【C】 ◇ 湯側のストレーナパッキンのゴミづまりはありませんか。 → 【F】 ◇ レバーの位置は合っていますか。 → 【K】 		
温度調節がうまくできない	<ul style="list-style-type: none"> ◇ 給湯機から十分な湯がきていますか。 → 【L】 ◇ 湯側・水側の止水栓は十分に開いていますか。 → 【C】 ◇ ストレーナパッキンのゴミづまりはありませんか。 → 【F】 ◇ レバーの位置は合っていますか。 → 【K】 		
音声を認識しない	<ul style="list-style-type: none"> ◇ ACアダプターはコンセントに差し込まれていますか。 → 【A】 ◇ ケーブル類は確実に接続されていますか。 → 【B】 ◇ 音声認識ワードを間違っていないですか。 → 【M】 ◇ 音声認識ワードを正しく発音できていますか。 → 【M】 ◇ 発音のスピードが速くありませんか、もしくは遅くありませんか。 → 【M】 ◇ 発音が小さくありませんか。 → 【M】 ◇ 環境音が大きくありませんか。 → 【N】 ◇ 電源ボックスのSW4がOFF(B)になっていませんか。 → 【O】 ◇ 電源ボックスのSW2・SW3のダイヤル設定は適切ですか。 → 【P】 		
水(湯)が出たり止まったりを繰り返す(勝手に出る)	<ul style="list-style-type: none"> ◇ センサーの表面が汚れていたり、水滴や泡が付着していませんか。 → 【G】 ◇ センサーの先に留め水や鏡の様な反射物はありませんか。 → 【Q】 ◇ インバータや赤外線を用いた他の機器を近くで使用していませんか。 → 【S】 ◇ 直射日光が入っていませんか。 → 【R】 ◇ 電源ボックスのSW2・SW3のダイヤル設定は適切ですか。 → 【P】 		
水が出る時、または水が止まる時にドドドッと水が震える	<ul style="list-style-type: none"> ◇ 電磁弁が震えていませんか。 → 【T】 		
吐水中の温度表示が白色点滅している	<ul style="list-style-type: none"> ◇ 電磁弁ケーブル(白色コネクター)が正しく接続されていますか。 → 【U】 		
使い始めからしばらくして、レバーの作動が重く(あるいは軽く)感じる。			
◇ご使用することで、商品内部の部品がなじんで安定化する現象で、故障ではありません。			
		上記の点検を実施されても不具合がなくなる場合は、ACアダプターをコンセントから抜き、お手数ですがお買上げの販売店(工事店)に修理をご依頼ください。	

漏水した場合の処置

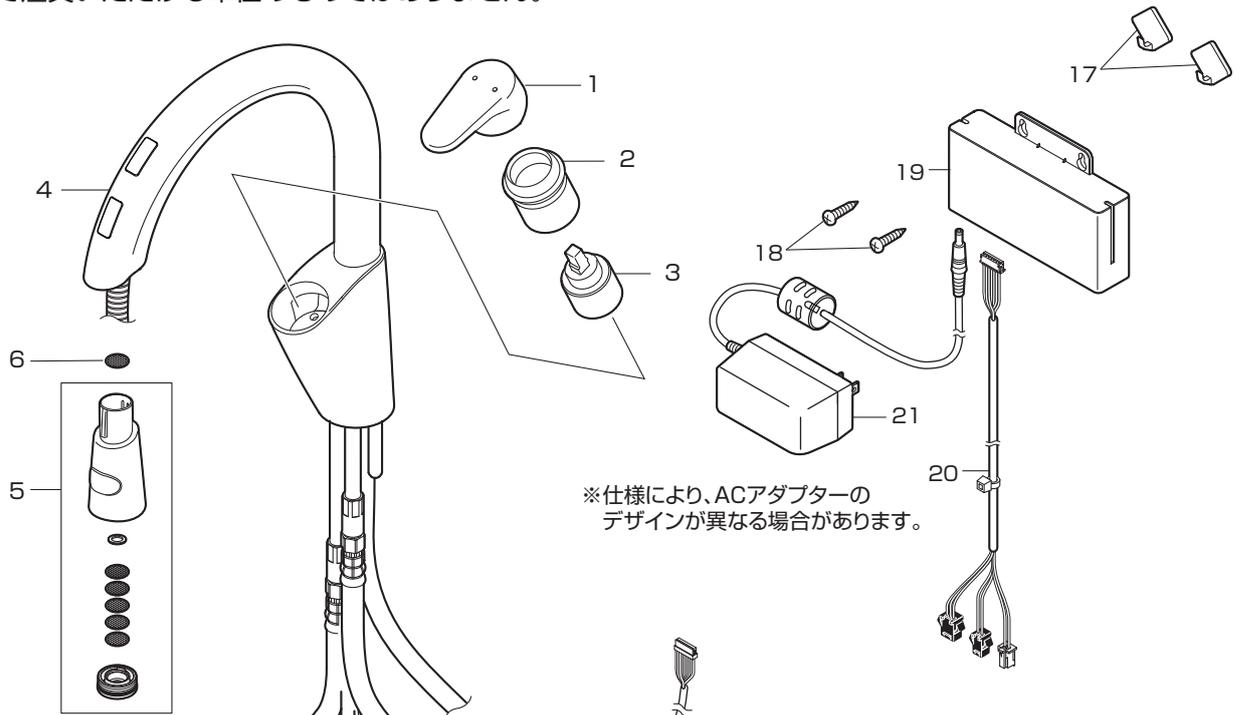
漏水した場合は、止水栓または配管中の元栓を閉めてください。

止水栓の閉め方	元栓の閉め方
<p>カウンター下に止水栓がある場合、ハンドルをまわして水を止めてください。</p>  	<p>元栓ボックス(メーターボックス)のふたを開け、元栓を右にまわして閉めます。</p> <ul style="list-style-type: none"> ※ 元栓を閉める前に給湯機や洗濯機などの使用は止めてください。 ※ 閉栓後は近くの水栓などで給水が止まっていることを確認してください。 ※ 一部の地域では左まわしの場合があります。 ※ 元栓がどこにあるかわからない場合は、水道局にお問い合わせください。 <p>■ 戸建て住宅などの元栓ボックス： 主に玄関やガレージ付近の地面にあります。古い戸建て住宅の場合は道路に円形のキー式ボックスがあったりします。</p> <p>● キー式 止水栓キー</p>  <p>● ハンドル式 水道メーター(量水器)</p>  <p>■ マンションなどの中高層住宅の元栓ボックス： 主に玄関を出た階段の踊り場に鉄の扉があり、電気やガスのメーターと共に水道メーターと元栓があります。お隣と共通のボックス内で元栓の場所がわからない場合は、水道料金の検針票などでご自分の水道メーター番号を確認してください。</p>  <p style="text-align: right;">水道メーター(量水器)</p>

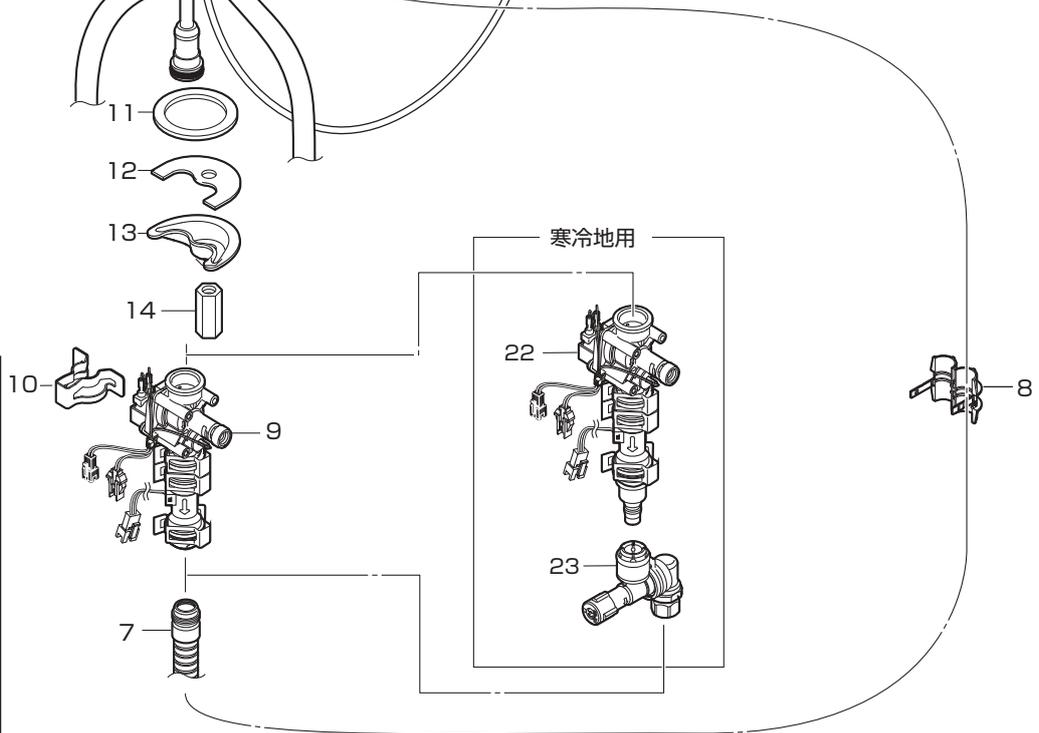
こんなときは 本製品の構造

本製品の構造を表したイラストです。構造をご理解いただくのにご使用ください。

※部品として注文いただける単位のものではありません。

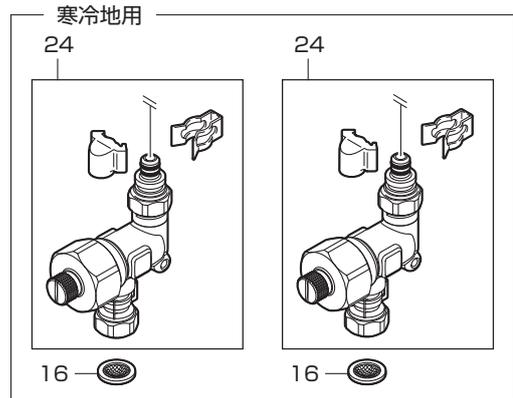
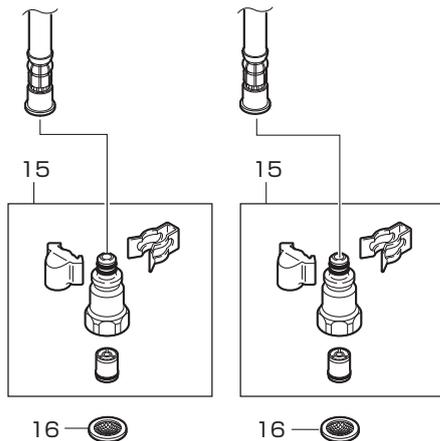


※仕様により、ACアダプターのデザインが異なる場合があります。



- | 一 般 用 | |
|-------|-------------|
| 1. | レバー |
| 2. | カバー |
| 3. | シングルカートリッジ |
| 4. | 吐水口本体 |
| 5. | シャワーヘッド(切替) |
| 6. | ストレーナ |
| 7. | シャワーホース |
| 8. | ストッパー |
| 9. | 電磁弁 |
| 10. | 異径クイックファスナー |
| 11. | 座パッキン |
| 12. | 取付パッキン |
| 13. | 取付金具 |
| 14. | 取付ナット |
| 15. | 逆止弁 |
| 16. | ストレーナパッキン |
| 17. | フック |
| 18. | 取付ねじ |
| 19. | 電源ボックス |
| 20. | 電磁弁ケーブル |
| 21. | ACアダプター |

- | 寒 冷 地 用 | |
|---------|----------|
| 22. | 電磁弁 |
| 23. | 水抜きジョイント |
| 24. | 逆止弁ユニット |



仕様

型 式	AEK8700E型
電 源	AC電源 AC100V 50/60Hz
消費電力	待機時：2W 動作時：最大3W
センサー感知距離	約20～50mm
検知時間（間隔）	音声操作：0.3秒以内 センサー操作：0.5秒以内
自動止水機能	水を出して約50L（動水圧0.1MPaシャワー吐水時に約11分）を超えると自動で止水
給水部接続	G1/2
高温通水時の機能	Bluetoothスピーカー未接続時 吐水温度45℃以上：サーモランプ赤点灯 Bluetoothスピーカー接続時 吐水温度45℃以上：サーモランプ赤点灯 『高温です。ご注意ください。』のアナウンス（10秒毎に繰り返し）

保証とアフターサービス

〔保証について〕

- この製品は保証書の内容に従って保証されています。
お買上げ(お取付け)年月日、販売店(工事店)名が記入してあることを確認してください。
- 保証期間中は保証書の規定に従って、修理をさせていただきます。
保証期間内でも有料になることがありますので保証書の内容をご確認ください。
保証期間は保証書を確認してください。
- 保証期間を過ぎていても修理すれば使用できる製品については、ご希望により有料で修理させていただきます。

〔水栓の定期的な点検・部品交換について〕

水栓の性能を維持するために定期的な点検・部品交換が必要です。摩耗劣化部品は、5年を交換の目安としておりますが、逆止弁については、より安全を考え、早め(3~5年)の点検・交換をおすすめします。(交換時期は、使用環境などにより異なります。)

定期点検・部品交換

使用年数

1 | 2 | 3 | 4 | 5 | 6 | 7 | 8 | 9 | 10 | 11 | 12

お客様による日常のお手入れ・点検

買替え
ご検討

摩耗劣化部品の交換

日頃のお手入れについてはP23~24、定期的な点検についてはP25をご確認ください。

摩耗劣化部品とは、日頃使用する度に摺動する、または摩耗及び劣化しやすい部品のことです。

摩耗劣化部品の例：電装部品・電磁弁・シングルカートリッジ・逆止弁・シャワーホースなど

部品が摩耗劣化すると操作性低下、機能障害、劣化物流出や水漏れなどの原因になりますので、交換が必要です。

部品の詳細についてはP27を参照してください。

〔補修用部品の供給期間〕

この製品の補修用部品(機能維持のために必要な部品であり、使用期間中に取替える可能性が高いもの)の供給期間は製造中止後10年です。

〔修理の依頼と部品交換の依頼について〕

- 修理依頼と部品交換依頼先：お求めの販売店(工事店)又は当社
- 連絡していただきたい内容：
 - 住所、氏名、電話番号
 - 品番、品名
 - お買上げ(お取付け)年月日
 - 故障内容、異常の状況(水漏れ箇所の説明など)、
部品交換の依頼
 - 訪問希望日

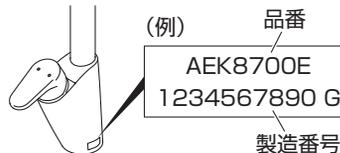
- 当社の修理および部品交換料金は「技術料」+「部品代」+「出張料」で構成されています。

「技術料」……診断・故障箇所の修理および部品交換・調整・修理完了時の点検などの作業にかかる費用。

「部品代」……修理および部品交換に使用した部品代。(無料修理で交換した古い部品・製品は当社の所有になります。)

「出張料」……製品のある場所へ技術者を派遣する場合の費用。

品番を確認するには本体右側下部に貼付のシールをご確認ください。



〔部品のご購入や修理の依頼、ご相談は〕

- まずは、お求めの販売店(工事店)へご相談ください。
ご不明な場合は当社までお問い合わせください。

SANEI 株式会社

〒537-0023 大阪市東成区玉津1丁目12番29号

お問い合わせ先 ☎ 0120-06-9721

受付時間 9:00~17:00(土日祝除く)

ホームページ www.sanei.ltd

水栓金具保証書

本書は、本書記載内容で無料修理させていただく事をお約束するものです。

保証期間中に故障が発生した場合は、お買上げの販売店(工事店)にご依頼いただき、出張修理に際して本書をご提示ください。

お買上げ(お取付け)年月日、お客様名、販売店(工事店)名など記入もれがありますと無効となります。

必ずご確認ください、記入のない場合はお買上げ(お取付け)の販売店(工事店)に申し出ていただくか、レシート又は領収書を貼付してください。

本書は再発行いたしません。大切に保管してください。

品番	品番は製品本体に貼っているシールをご確認ください。		販売店 工事店	店名 住所 電話 ()
保証期間	対象部品	期間(お買上げ日/お取付け日から)		
	本体	2ヵ年		
お買上げ日 (お取付け日)	年 月 日			
お客様	お名前 様			
	ご住所			
	電話 ()			

＜無料修理規定＞ ご依頼の前に再度、取扱説明書をお読みいただきご確認ください。

- 「取扱説明書」、「ラベル」などの注意書に従った正常な使用、維持管理状態で、保証期間中に故障した場合、無料修理いたします。
- ご転居、ご贈答品などで本保証書に記入の販売店(工事店)に修理を依頼できない場合は当社にご相談ください。
- 保証期間内でも次の場合には有料修理になります。
 - 使用、維持管理上の誤り及び不当な修理、改造による故障及び損傷
 - 温泉水、中水、飲用不可な井戸水による故障及び損傷
 - お買上げ(お取付け)後の取付場所の移動及びそれに伴う落下などによる故障及び損傷
 - 火災、地震、水害、落雷、その他の天災地変、公害など、その他の事故及び損傷の原因が製品以外にある場合
 - 電気製品における異常電圧、指定外の使用電源(電圧・周波数)及び外部ノイズなどに起因する不具合
 - 消耗部品の劣化に伴う故障及び損傷
 - 施工説明書などに基づかない施工、専門業者以外による移動・分解・改造などに起因する不具合
 - 建築躯体の変形(強度不足・ゆがみ)など製品以外の不具合に起因する製品の不具合及び表面仕上げ、色あせなどの経年変化又は使用に伴う摩耗などにより生じる外観上の不具合
 - 海岸付近、温泉地などの地域における腐食性の空気環境に起因する不具合
 - ねずみ、昆虫などの動物の行為に起因する不具合
 - 砂やごみ、給水・給湯配管の錆など異物流入及び水あかの固着に起因する不具合
 - 寒冷地仕様の製品で水抜きをされなかった場合や、寒冷地仕様でない製品の凍結による故障及び損傷
 - 本書の提示がない場合
 - 本書にお買上げ(お取付け)年月日、お客様名、販売店(工事店)名の記載がない場合、あるいは字句の書き換えられた場合
- 本書は日本国内においてのみ有効です。
 - ★ この保証書は本書に明示した期間・条件のもとにおいて無料修理をお約束するものです。従って、この保証書によってお客様の法律上の権利を制限するものではありませんので、保証期間経過後の修理などにつきましてはお買上げの販売店(工事店)、または当社にお問い合わせください。
 - ★ 補修用部品の保有期間についてご不明の場合は下記へお問い合わせください。

修理メモ

SANEI 株式会社

〒537-0023 大阪市東成区玉津1丁目12番29号

お問い合わせ先 ☎ 0120-06-9721

受付時間 9:00~17:00(土日祝除く)

ホームページ www.sanei.ltd